

借款額ヲ集ムルモ遅カラストノ下心ヲ有スルモノト認めラル(最近支那側ニ於テ十月十五日ヲ以テ正太鐵道其ノモノヲ接收シタルカ如ク宣傳シ居ルハ事實ニ非ス)

三、⁽³⁾白耳義「シンジケイト」ニ於テハ一九一三年ノ契約ニ依リ同成線建設ノ權利ヲ有シ居リ從テ今次佛國側借款契約中ニ在ル太原、潼關線ノ建設ハ法理論トシテ之ニ抵觸スルモ前述ノ通り歐洲財界ノ實情ヨリ見テ佛國側契約ハ實行不可能ナルモノト認め居ルニ付別ニ問題ト爲シ居ラス白耳義側トシテハ出來得レハ寧口隴海線、京漢線ノ改良ニ投資スル積リナリ

四、沽石線ニ關シテモ石家莊、滄州間ノ鐵道ニ付米、獨、佛、白等ノ各會社ニ於テ何レモ單獨ニ早クヨリ支那政府ト契約ヲ締結シ居リ「コンセツション」ヲ有シ居ルモ財政上

ヨリ見て起債困難ナレハ若シ佛國側ニ於テ必要ナル金額ヲ集メ實際上建設ニ取掛ルニ於テハ之等會社モ結局反對シ得サルヘク又假令法理論ヲ以テ之ニ對抗スルトモ支那側ハ一定期間内ニ規定ノ金額ヲ集メ得サルニ於テハ契約ヲ破棄スル旨通告シ來ルヘシ

五、新借款ニ依リ鐵道建設實現ノ場合ニハ鐵道材料ハ佛國ヨリ輸入セラルルコトトナルヘキモ佛、白兩國共狹軌鐵道ノ材料ハ「ストツク」ナキニ付佛國側カ之ヲ機會ニ狹軌鐵道ノ材料ヲ賣捌クトノ說ハ事實ニアラス

右ハ北平發閣下宛電報第六四三號ト内容多少相違アルモノ不

取敢

滿、奉天、北平、南京、天津へ轉電セリ

日本外交文書

昭和期II第一部第一卷

(昭和七年对中国關係)

日付索引

昭和期Ⅱ第一部第一卷
 (昭和七年对中国關係)
 日付索引

一月

事項 番号	文書 番号	日付	電信 番号	発・受 信者	件名	頁
六	505	昭和7年1月1日	二	在広東須磨總領事代理より 犬養外務大臣宛(電報)	国民党統一政府成立に伴ない広東国民政府解 消方通令について	546
八	707	昭和7年1月5日	機密公一	在広東須磨總領事代理より 犬養外務大臣宛	排日取締りに関し程広州市長に嚴重注意喚起 について	726
一	1	昭和7年1月6日	四六	在奉天森島總領事代理より 犬養外務大臣宛(電報)	北寧鐵道借款の償還手形支払い停止問題に 関し奉天省政府より支払い方決定について	1
				付記 昭和六年十二月三十一日発在奉天森島總領事代理より犬養外務大臣宛電報 第一六二九号 右停止問題に關し急速解決方意見申		1
二	141	昭和7年1月6日	普通二三	在安東米沢領事より 犬養外務大臣宛	避難民の朝鮮流入引止め方朝鮮總督府より依 頼について	163
四	338	昭和7年1月6日	三九	在奉天森島總領事代理より 犬養外務大臣宛(電報)	大連・安東・營口の三税関独立および新関税 政策につき関東軍司令部研究中との情報につ いて	369
一	2	昭和7年1月7日	七	在吉林石射總領事より 犬養外務大臣宛(電報)	吉海線の吉長・吉敦鐵路局および満鉄に対す る経営委任について	2
一	3	昭和7年1月8日	六二	在奉天森島總領事代理より 犬養外務大臣宛(電報)	奉天省政府による山海関以東の北寧線管理開 始について	2
二	142	昭和7年1月8日	普通一一	在奉天森島總領事代理より 犬養外務大臣宛	満州各地における朝鮮人避難者数について	164

九	843	昭和7年1月8日	合三八	大養外務大臣より 在英国松平大使、在中国重光公使、 在中国矢野大使館参事官、在奉天森 島総領事代理宛(電報)	中国の治外法権撤廃要求問題に関し列国の共 同対応方英国より提議について	884
一	4	昭和7年1月9日	二六	別電 一月八日発大養外務大臣より在英国松平大使、在中国重光公使、在中国矢 野大使館参事官、在奉天森島 右提議 呼海鉄道委任経営などを条件とする満鉄の黒 龍江省政府への融資契約成立について	884	
一	5	昭和7年1月9日	二七	在ハルビン大橋総領事より 大養外務大臣宛(電報)	北満電気会社合併問題および北満における拓 殖事業に対する東拓の意向査報方稟請	3
五	493	昭和7年1月9日	一三	在上海村井総領事より 大養外務大臣宛(電報)	上海における桜田門事件の捜査状況について	504
八	793	昭和7年1月(10)日	一七	付記 一月九日警視庁通報および一月月上旬発在上海村井総領事より大養外務大臣 宛電報摘録 「櫻田門外大逆事件」	桜田門事件に関する民国日報の不敬記事につ き呉市長に陳謝ならびに処罰を要求について	505
五	494	昭和7年1月11日	一八	在上海村井総領事より 大養外務大臣宛(電報)	桜田門事件に関し仏国租界警察当局との捜査 協力について	507
六	506	昭和7年1月11日	一四	在中国矢野大使館参事官より 大養外務大臣宛(電報)	北平政務委員会成立の見込みならびに宋子文 による蔣・汪合作運動について	546
八	794	昭和7年1月(11)日	四	在青島川越総領事より 大養外務大臣宛(電報)	民国日報不敬記事に居留民激昂の状況につい て	835
八	795	昭和7年1月11日	二七	在福州田村総領事より 大養外務大臣宛(電報)	林知淵が民国日報不敬記事に関し陳謝しかつ 主筆の逮捕を報告について	836
六	507	昭和7年1月12日	二七	在広東須磨総領事代理より 大養外務大臣宛(電報)	中央政府より広東当局に対する塩取送金方訓 令ならびに蔣・汪合作の見込みに関し塩務協 理ウオルコットの内話について	547
八	708	昭和7年1月12日	三〇	在福州田村総領事代理より 大養外務大臣宛(電報)	厦門抗日会の解散を林知淵に要求の旨厦門領 事に通報について	727
八	796	昭和7年1月12日	機密六四	在上海村井総領事より 大養外務大臣宛	民国日報掲載の不敬記事切抜きおよび呉上海 市長への抗議書送付について	836
五	495	昭和7年1月13日	機密六六	在上海村井総領事より 大養外務大臣宛	桜田門事件に関し始末書進達について	507
八	709	昭和7年1月13日	機密六〇	在広東須磨総領事代理より 大養外務大臣宛	今後の排日運動は党部指導の下に統制される 傾向について	728
八	797	昭和7年1月13日	三〇	在広東須磨総領事代理より 大養外務大臣宛(電報)	桜田門事件に関する英字紙広東ガゼットの論 評不穩につき程広東市長に嚴重抗議申入れに ついて	837
一	6	昭和7年1月14日	二一機密八	大養外務大臣より 在奉天森島総領事代理宛	満州における商業利益妨害問題および辺業銀 行の形支払い拒否問題に関する米国外務大臣申 入れへの回答案について	4
八	710	昭和7年1月14日	三三	在南京上村領事より 大養外務大臣宛(電報)	行政院発布の排日取締り令について	729
八	711	昭和7年1月14日	一四	在厦門三浦領事より 大養外務大臣宛(電報)	厦門における反日会解散の時機に関し福州総 領事へ照会について	729
八	798	昭和7年1月14日	合九七	芳沢外務大臣より 在仏国栗山臨時代理大使 在米国出淵大使	民国日報の不敬記事に激昂した青島在留邦人 の同社および国民党部等襲撃放火について	838
八	799	昭和7年1月14日	機密二七	付記 亜細亜局第二課作成(十二月、日付不明) 「青島ニ於ケル邦人ノ市黨部等襲撃事件」	桜田門事件犯人を「韓国志士」とする中国新 聞報道に関し外交部に抗議申入れについて	839
一	7	昭和7年1月15日	一〇三	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	吉黒林鉞借款契約における担保物処分解釈 に関し政府見解回示方稟請	12
				付記一 外務省作成(作成日不明) 「吉黒林鉞借款擔保物処分ニ關スル件」		13

日付索引

九	八	八	八	五	一	一	一	八	六	一	八	八	八	一	八	二	八	八	三	二	二	一	八	八	
844	808	807	714	432	13	12	11	806	508	10	805	713	804	9	803	145	802	801	230	144	143	8	800	712	
昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月23日	昭和7年1月22日	昭和7年1月21日	昭和7年1月21日	昭和7年1月21日	昭和7年1月20日	昭和7年1月20日	昭和7年1月19日	昭和7年1月19日	昭和7年1月18日	昭和7年1月18日	昭和7年1月17日	昭和7年1月16日	昭和7年1月16日	昭和7年1月16日	昭和7年1月16日	昭和7年1月16日	昭和7年1月15日	昭和7年1月15日	
合一七七	五六	三四	三四	六三	一四四	七	合二六一	五五	二九	五四	四三	五二	四	三〇	四一	一五	五	三七	三八〇ノ二	一二	二	一〇八	三一	一五	
在奉天森島總領事代理より	芳沢外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より	芳沢外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在南京上村領事より	在中國守屋臨時代理公使より	在南京上村領事より	在廣東須磨總領事代理より	在南京上村領事より	在南京上村領事より	在南京上村領事より	在上海村井總領事宛(電報)	在安東米沢領事より	在上海村井總領事宛(電報)	在上海村井總領事宛(電報)	在上海村井總領事宛(電報)	中谷關東庁警務局長より	永井外務次官他宛	在奉天森島總領事代理より	在上海村井總領事宛(電報)	在廈門三浦領事より	
在英國松平大使、在中國守屋臨時代理公使、在中國矢野大使館參事官、在奉天森島總領事代理宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より	芳沢外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在南京上村領事より	在中國守屋臨時代理公使より	在南京上村領事より	在廣東須磨總領事代理より	在南京上村領事より	在南京上村領事より	在南京上村領事より	在上海村井總領事宛(電報)	在安東米沢領事より	在上海村井總領事宛(電報)	在上海村井總領事宛(電報)	在上海村井總領事宛(電報)	中谷關東庁警務局長より	永井外務次官他宛	在奉天森島總領事代理より	在上海村井總領事宛(電報)	在廈門三浦領事より	
中国の治外法権撤廃要求問題に関する英国申入れへの同意回答について	共和報による李奉昌贊美の論稿掲載につき、東市長に四項目の要求提示について	北平晨報の韓国独立宣言転載に関し我が要求事項達成により事態解決とすべき旨上申	留を処罰すべき旨布告について	上海の情勢に伴う南京市内の緊迫化について	奉天鐵路局新設経緯および同線運営状況について	奉天鐵路局新設に伴う英国側との関係について	北寧鐵道借款の償還手形支払停止問題に関する解決経緯について	北寧線に対する日本軍の行動は違法侵害との陳友仁外交部長抗議について	程広東市長がガゼット主筆に不敬記事に關し警告について	北寧線に対する日本軍の行動は違法侵害との陳友仁外交部長抗議について	國民政府による対日国交断絶は中国にとり極めて不利との英字紙の報道振りについて	民國日報不敬事件は記者の処罰および陳謝記事掲載にて一応解決について	首都各界抗日救国会の対日国交断絶に關する通電について	程広東市長がガゼット主筆に不敬記事に關し警告について	北寧線に対する日本軍の行動は違法侵害との陳友仁外交部長抗議について	國民政府による対日国交断絶は中国にとり極めて不利との英字紙の報道振りについて	民國日報不敬事件は記者の処罰および陳謝記事掲載にて一応解決について	北寧鐵道借款の償還手形支払停止問題に関する解決経緯について	奉天鐵路局新設に伴う英国側との関係について	奉天鐵路局新設経緯および同線運営状況について	北寧鐵道借款の償還手形支払停止問題に関する解決経緯について	北寧線に対する日本軍の行動は違法侵害との陳友仁外交部長抗議について	國民政府による対日国交断絶は中国にとり極めて不利との英字紙の報道振りについて	民國日報不敬事件は記者の処罰および陳謝記事掲載にて一応解決について	
885	849	848	733	445	19	18	17	847	548	16	847	732	845	15	845	844	167	844	843	268	166	165	15	842	730

六	510	昭和7年1月31日	四六	芳沢外務大臣宛(電報)	要人の談話について	549
五	439	昭和7年1月31日	五一	芳沢外務大臣宛(電報)	上海事変の報道に伴う当地民心の動揺への対応について	450
五	438	昭和7年1月31日	五三	芳沢外務大臣宛(電報)	二十日より戦闘は停止されたが事態予測不能につき杭州方面邦人に避難勧告について	449
九	848	昭和7年1月30日	二〇	芳沢外務大臣宛(電報)	英領事館の洛陽移駐宣言の背景に関する中国提議の旨回答について	891
五	437	昭和7年1月30日	四四	芳沢外務大臣宛(電報)	上海事変に伴う治安維持のための湖北省の措置につき何成濬主席より表明について	448
五	436	昭和7年1月30日	七二	芳沢外務大臣宛(電報)	英領事館の洛陽移駐宣言の背景に関する中国提議の旨回答について	448
五	435	昭和7年1月30日	一六一	芳沢外務大臣宛(電報)	上海事変に関する広東方面の情勢について	447
九	847	昭和7年1月29日	一七	芳沢外務大臣宛(電報)	英大使の意見具申電について	890
八	718	昭和7年1月29日	三〇	芳沢外務大臣宛(電報)	青島における対日貿易活況の原因について	736
五	434	昭和7年1月29日	一五〇	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方空爆の被害および共同租界などの混乱状況について	446
五	433	昭和7年1月29日	八三	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	445
八	813	昭和7年1月28日	六五	芳沢外務大臣宛(電報)	共和報不敬記事事件に關し市長より同社の陳謝状を取次ぐ意味の公文を送付方申出について	853

八	812	昭和7年1月28日	五	芳沢外務大臣宛(電報)	共和報不敬記事事件に關し市長より同社の陳謝状を取次ぐ意味の公文を送付方申出について	853
八	717	昭和7年1月28日	四三	芳沢外務大臣宛(電報)	排日貨の取締りを周天津市長および王河北省主席に嚴重申入れについて	735
八	716	昭和7年1月27日	商八	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	734
二	146	昭和7年1月27日	商八	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	168
八	811	昭和7年1月26日	五九	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	851
八	810	昭和7年1月25日	四三	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	851
九	846	昭和7年1月24日	一四	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	887
八	809	昭和7年1月24日	四〇	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	850
八	715	昭和7年1月24日	二九	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	733
六	509	昭和7年1月24日	二〇	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	548
九	845	昭和7年1月23日	一三	芳沢外務大臣宛(電報)	我が方海軍は今後必要な自衛手段をとる旨中国側へ通告とこれに伴う領事館の下関への引揚げについて	887

別電 一月二十三日発芳沢外務大臣より在英國松平大使、在中國守屋臨時代理公使、在中國矢野大使館參事官 在奉天森島總領事代理宛合第一七八号 886
右回答文

別電 一月二十四日發芳沢外務大臣より在英國松平大使宛第一五号 889
右探査事項

在中國矢野大使館參事官より 關し張學良に追加要求申入れについて 851
在廣東須磨總領事代理より 共和報不敬記事に關する廣東市長との交渉振りについて 851
芳沢外務大臣宛(電報) 北平リダー紙の韓國獨立黨宣言掲載問題に關し張學良に追加要求申入れについて 851
高橋ハルビン日本居留民會會長より 願について 168
在中國橫竹大使館商務參事官より 願について 168
芳沢外務大臣宛(電報) 排日貨の取締りを周天津市長および王河北省主席に嚴重申入れについて 735
芳沢外務大臣宛(電報) 共和報不敬記事事件に關し市長より同社の陳謝状を取次ぐ意味の公文を送付方申出について 853

日付索引

五	五	五	五	五	六	六	五	五	五	五	五	八	五	五	五	五	五	五	二	八	六	五	五	
458	457	456	455	454	513	512	453	452	451	450	449	815	448	447	446	445	444	443	442	147	814	511	441	440
昭和7年2月5日	昭和7年2月5日	昭和7年2月5日	昭和7年2月5日	昭和7年2月4日	昭和7年2月3日	昭和7年2月(3)日	昭和7年2月3日	昭和7年2月3日	昭和7年2月3日	昭和7年2月3日	昭和7年2月3日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月2日	昭和7年2月1日	昭和7年2月1日	昭和7年2月1日	昭和7年2月1日
機密五四	一一六	一一二	六〇	三九	八	八三	八〇	五三	七	合三六六	九	八七	六二	五七	五六	六五	五二	三五	合三三三	二七	八二	一〇九	一〇〇	
芳沢外務大臣宛	在南京上村領事より	在南京上村領事より	在中国矢野大使館参事官より	在濟南西田總領事より	在芝罘内田領事より	在廣東須磨總領事代理より	在中国重光公使より	在福州田村總領事より	在漢口坂根總領事宛(電報)	芳沢外務大臣より	在廣東須磨總領事代理宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より	在漢口坂根總領事より	在漢口坂根總領事より	在漢口坂根總領事より	在中國重光公使より	在福州田村總領事より	在中國重光公使宛(電報)	芳沢外務大臣より	在安東米沢領事より	芳沢外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	在南京上村領事宛(電報)	
上海の形勢は予断を許さないため華南方面に引揚げる婦女子などの内地または台湾などへの早期引揚げ手配方訓令	上海の形勢は予断を許さないため婦女子等の早目の上海または内地への引揚げにつき検討方訓令	民心動揺防止の観点から婦女子引揚げ見合せ方中国側要望について	日清汽船ハルク掠奪事件発生および谷司令に治安維持方申入れについて	鄧沢如が林麗生を派遣して中央政府の洛陽遷都等当面の政局に対する広東派の意向を内報について	国民政府対日宣戦等の場合における劉珍年の態度に關し驅逐隊司令に見解回答について	邦人保護に關する民団などへの措置について	上海事変悪化に伴い地方における不測の事態勃発防止のため出先官憲に訓令方意見具申	日清汽船ハルク掠奪事件損害賠償金の中国側支払いについて	上海における日本陸戦隊による中国市民への暴行に關し外交部長抗議申越しについて	上海事変の展開に伴う山東方面の危機を想定し居留民保護方に関し意見上申	南京の状況は予断を許さないため華南方面に引揚げる婦女子などの内地または台湾などへの早期引揚げ手配方訓令	上海の形勢は予断を許さないため華南方面に引揚げる婦女子などの内地または台湾などへの早期引揚げ手配方訓令	南京砲撃事件の影響について											
464	463	463	462	461	552	550	460	459	459	458	458	856	457	456	455	454	454	453	453	168	855	452	451	

五	五	五	一	一	二	五	五	五	三	五	五	五	五	五	二	二	二	五	五	五	五	五	五	五
475	474	473	15	14	151	472	471	470	231	469	468	467	466	465	150	149	148	464	463	462	461	460	459	
昭和7年2月11日	昭和7年2月11日	昭和7年2月(II)日	昭和7年2月11日	昭和7年2月11日	昭和7年2月10日	昭和7年2月9日	昭和7年2月9日	昭和7年2月9日	昭和7年2月(9)日	昭和7年2月8日	昭和7年2月(8)日	昭和7年2月8日	昭和7年2月(8)日	昭和7年2月8日	昭和7年2月8日	昭和7年2月8日	昭和7年2月8日	昭和7年2月(7)日	昭和7年2月7日	昭和7年2月7日	昭和7年2月6日	昭和7年2月6日	昭和7年2月6日	
機密一八	一六九	七七	三四	二一五	三三	普通七八	八九	合四六〇	二〇七	合四四一	一二五	五七	四〇	四三	公一一三	一一三二	二〇一	一二五	一四〇	二五四	一三四	七九	一〇三	
在沙市浦和領事館事務代理より	在中国重光公使より	在中國重光公使より	在安東米沢領事より	在奉天森島總領事代理より	在安東米沢領事より	在南京上村總領事代理より	在漢口坂根總領事より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在米田連盟事務局長宛(電報)	在南京上村總領事代理より	在福州田村總領事より	在中國矢野大使館參事官より	在中國矢野大使館參事官より	在牛莊荒川領事より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在南京上村總領事代理より	在南京上村總領事代理より	在上海村井總領事より	在南京上村總領事代理より	在漢口坂根總領事より	在中國重光公使より	
沙市領事館の漢口への引揚げについて	上海事変に伴う邦人の越軌行動取締りのため	上海事変に伴う邦人の越軌行動取締りのため	朝鮮人避難民の帰還対策について	蘇州在留民引揚げに関する柳原書記生などの報告送付について	蘇州在留民引揚げに関する柳原書記生などの報告送付について	抗議の不当を省政府に申入れについて	日本租界境界線の鉄条網敷設に関する中国側	欠商款整理委員会組織について	旧東北政権の債務整理に関し奉天省政府の積	南京砲撃事件に関する外交部宛覚書について	南京における中国側民心の安定について	福州における上海事変の影響について	雲陽丸の日清汽船ハルク横づけのための前提条件を中国側に要求について	南京砲撃事件に関する外交部宛覚書について	日本軍占領後の錦州における居留民の状況について	救済金給与の風聞による避難者増加の傾向に	陸軍増援の目的につき我が方在中国各公館に							
484	484	483	20	20	171	480	479	477	269	269	474	475	476	476	170	169	169	472	471	470	469	468	467	

一	16	昭和7年2月12日	三五	在安東米沢領事より	密輸団の海関職員殴打事件に関し海関長より	21
一	17	昭和7年2月12日	四〇	在長春田代領事より	犯人逮捕など要求について	22
五	476	昭和7年2月12日	一〇二	在漢口坂根総領事より	長大線敷設計画に関し松花江利用の観点など	22
六	514	昭和7年2月12日	一〇八	在漢口坂根総領事より	九江における事端発生防止のため日本軍艦々	486
八	719	昭和7年2月12日	一〇七	在漢口坂根総領事より	長と九江警備司令の会見方取計について	486
八	720	昭和7年2月12日 公信一〇一	三六	在天津桑島総領事より	何成濬湖北省主席は武漢方面への上海事変の	553
一	18	昭和7年2月13日	三六	在安東米沢領事より	影響を危惧し治安対策に腐心について	737
一	19	昭和7年2月13日	三三	在奉天森島総領事代理より	何成濬湖北省主席が日貨ボイコットの禁止を	738
五	477	昭和7年2月13日	三七	在奉天森島総領事代理より	市党部に申渡しについて	738
五	478	昭和7年2月13日	八二	在奉天森島総領事代理より	天津における日貨排斥の対日貿易に及ぼす影	738
一	20	昭和7年2月14日	三三	在奉天森島総領事代理より	響について	738
一	21	昭和7年2月15日	三三	在奉天森島総領事代理より	密輸取締りに関する関東庁令を日本側不履行	738
五	479	昭和7年2月15日	三八	在奉天森島総領事代理より	との海関長抗議に対し回答明示方稟請	738
一	22	昭和7年2月16日	三四	在奉天森島総領事代理より	奉天省政府による葫蘆島築港工事費延滞金支	738
一	22	昭和7年2月16日	三四	在奉天森島総領事代理より	払いには辺業銀行宛手形分の花旗銀行への支	738
五	481	昭和7年2月20日	二四	在漢口坂根総領事宛(電報)	払いも含む旨米國総領事に回答について	738

二	152	昭和7年2月16日	三七	在奉天森島総領事代理より	三月三十一日付芳沢外務大臣より在本邦フォーブス米國臨時代理大使宛公	24
一	22	昭和7年2月16日	三四	在奉天森島総領事代理より	付記 信亜一機密第二九号	24
一	22	昭和7年2月16日	三四	在奉天森島総領事代理より	右花旗銀行への支払い問題円満解決につき通告	24
五	480	昭和7年2月18日	三三	在上海村井総領事より	上京の委員などの言辭が居留民の盲動を助長	487
一	23	昭和7年2月18日	一六八	在奉天森島総領事代理より	する恐れあり対応につき注意要請について	487
一	23	昭和7年2月18日	一六八	在奉天森島総領事代理より	上海事変の南京および蘇州方面への波及防止	488
五	480	昭和7年2月18日	三三	在上海村井総領事より	に関する中国側官憲の態度について	488
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	東北電信管理処・関東庁間に連絡通信に関する	488
六	515	昭和7年2月19日	七三	在天津桑島総領事より	協定成立について	488
八	721	昭和7年2月19日	一五	在バタヴィア三宅総領事より	葫蘆島築港資金の奉山鉄路局への移管および	488
八	721	昭和7年2月19日	一五	在バタヴィア三宅総領事より	花旗銀行への預替えに関し米國領事の内話に	488
八	816	昭和7年2月19日	八八	在中国矢野大使館参事官より	ついて	488
五	480	昭和7年2月18日	三三	在上海村井総領事より	日中紛争に伴う外国人生命財産への損害につ	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	き中国政府は責任なしとの申出に対し日中双	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	方に責任ありとの米國総領事談について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	満州州の米國通信再開のため奉天無線電信	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	局設置について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	朝鮮人避難民の原地帰還問題に関し応急策と	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	して警官配備と自衛のほかなきにつき必要警	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	官数等査報方満各領事宛依頼について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	二月十七日着在奉天森島総領事代理より	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	別電 二月十七日着在奉天森島総領事代理より	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	原地帰還不能の避難民に対する移住候補地回報方満各領事宛依頼につい	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	て	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	朝鮮人避難民帰還方針に関する朝鮮総督府外	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	事課長等との協議結果について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	軍部によるハルビン無電台接収実現阻止に関	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	し奉天郵便局長よりの援助要請について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	上海事変に伴う英国兵士死亡に関し英国総領	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	事に留意表明について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	関東軍の東北電信管理処よりの無線部門切離	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	し方針に対する奉天郵便局長妥協案について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	李際春一派の租界を根拠とした画策情報に関	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	し軍側に照会について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	バタヴィアにおける排日運動に関し総務長官	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	に取締り方要求について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	北平リーダー紙の韓国独立党宣言掲載問題に	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	関する張学良との交渉振りについて	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	別電 二月十九日着在中国矢野大使館参事官より芳沢外務大臣宛第八九号	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	右問題に関する張学良陳謝文について	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	十九路軍に対する攻撃開始に伴う居留民の保	489
一	24	昭和7年2月19日	二五八	在奉天森島総領事代理より	護に留意方訓令	489

二	160	昭和7年3月(1)日	二二四	在ハルビン長岡総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	中東鉄道東部線沿線各地よりの引揚げ状況に ついて	179
二	159	昭和7年2月29日	三二六	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)		178
二	158	昭和7年2月29日	三二四	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)		177
九	850	昭和7年2月27日	三〇六	在中国重光公使(電報) 芳沢外務大臣宛	避難民原地帰還のため関東庁警察官二百名臨 時出張につき同庁警務局長内諾について	894
一	30	昭和7年2月26日	三二五	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款に関する中仏交渉否定の旨の仏 国人有力者の談話について	34
一	29	昭和7年2月26日	二〇八	在ハルビン長岡総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	安東密輸取締りに関し新国家より日本側関係 機関に協力依頼方金井顧問に懇諭について	34
九	849	昭和7年2月25日	一〇二	在中国矢野大使館参事官より 芳沢外務大臣宛(電報)	国民政府による対日戦費調達のための正太鉄 道を担保とする仏国との新借款交渉について	893
五	488	昭和7年2月25日	垂二機密 八三	永井外務次官より 河原田内務次官宛	齊克線の連絡輸送に関し馬占山・満鉄間に了 解成立について	498
二	157	昭和7年2月25日	三〇八	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	三矢協定廃止の交渉方につき朝鮮総督府より 要請について	497
一	28	昭和7年2月25日	三〇四	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	上海事変による避難民への救護費支出に関し 閩係府県への通牒方依頼について	496
五	487	昭和7年2月24日	七二	在福州田村総領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	当地派遣北上艦長らの領事館を無視した越軌 行動は正につき海軍省側に申入れ方稟請	33
五	486	昭和7年2月24日	合六〇〇	芳沢外務大臣より 在奉天森島総領事代理、在上海村井 総領事、在香港吉田総領事代理他宛 (電報)	新国家における阿片管理方式に関する関東庁 の構想について	495
五	485	昭和7年2月24日	合五九九	芳沢外務大臣より 沢田連盟事務局長 在米国出淵大使 宛(電報)	上海総領事の十九日付市長宛要求に対し国民 政府より回答なきため我が軍は二十日午前七 時半より攻撃開始について	493
二	156	昭和7年2月24日	一九〇	在ハルビン長岡総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	中国軍の閩北攻撃の実況について	176
一	27	昭和7年2月24日	四〇	在安東米沢領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	一面坡以外には引揚げ勧告を發出しない方針 について	32
一	26	昭和7年2月24日	二八八	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	密輸入横行に嚴重取締りの必要性意見具申 について	31
一	25	昭和7年2月24日	二八二	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	北満方面の電信連絡に関する対外説明方針に つき関東庁通信局長との協議について	29
五	484	昭和7年2月23日	三七二	在上海村井総領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	対外無線通信は東北電信管理処所管とするこ とに軍側了承について	492
五	483	昭和7年2月22日	一三七	在広東須磨総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	上海より中国人避難者多く居留民へ自重方 嚴重要請について	492
二	155	昭和7年2月22日	二七二	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	朝鮮人避難民掃還実行案および同案作成に際 しての留意点について	174
二	154	昭和7年2月(2)日	一七七	在ハルビン長岡総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	丁超軍の一面坡入りに関し同地居留民保護方 朝鮮人避難民掃還実行案について	174
六	516	昭和7年2月20日	一三四	在広東須磨総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	広東当局による国民政府および十九路軍に対 する不即不離の方針について	555
五	482	昭和7年2月20日	一三	在広東須磨総領事代理宛(電報)	上海において十九路軍敗退の際の反動が憂慮 されるため居留民保護に留意方訓令	491

二	166	昭和7年3月13日	一七六	芳沢外務大臣宛(電報)	在ソ連邦広田大使より	黒河避難民の一時ソ連領滞滞在方外務部に申入れについて	186
二	165	昭和7年3月(13)日	二二	館事務代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在アラゴヴェスチェンスク豊原領事館事務代理より	黒河避難民の一時ソ連領滞滞在方外務部に申入れに交渉方稟請	185
二	164	昭和7年3月(13)日	二六八	芳沢外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡総領事代理より	黒河事件に關し在留民保護方馬占山配下の王參謀長に依頼について	184
六	518	昭和7年3月12日	一六	芳沢外務大臣宛(電報)	在芝罘内田領事より	山東における劉珍年の対日態度等について	557
五	490	昭和7年3月11日	一九〇	芳沢外務大臣宛(電報)	在漢口坂根総領事より	塩沢第一遣外艦隊司令官の漢口訪問は種々問題はあるも実施すべき旨意見具申	499
八	724	昭和7年3月10日	公三九	芳沢外務大臣宛	在シヤム国矢田部公使より	バンコックにおける華僑の排日示威運動取締りについて	744
二	163	昭和7年3月10日	一八	館事務代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在アラゴヴェスチェンスク豊原領事館事務代理より	黒河事件に關するソ連側当局との会見について	182
二	162	昭和7年3月10日	一一	芳沢外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事宛	朝鮮總督府による警察官満州派遣提案には反対の旨回答方訓令	181
一	36	昭和7年3月9日	三八〇	付記 在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	付記 八月十二日、閣議決定 日滿合弁航空会社設立に關する要綱	日滿合弁航空会社設立に關する満鉄情報について	42
一	35	昭和7年3月8日	三七四	芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より	吉会線終端港問題および天図鉄道買収に關する満鉄幹部の内話について	39
一	34	昭和7年3月8日	垂二機密 一〇〇	芳沢外務大臣宛 秦拓務大臣宛	在間島岡田總領事より 芳沢外務大臣宛	吉会線建設工事に朝鮮人使用方朝鮮總督府の満鉄宛要請について	37
一	33	昭和7年3月7日	機密一九二	芳沢外務大臣宛	在間島岡田總領事より	安東密輸取締りに關し関東庁および朝鮮總督府に対し訓達方依頼について	39
一	32	昭和7年3月7日	三七〇	別電 右通告文	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	米国の満州よりの通信再開に關し米國總領事に通告について	36
六	517	昭和7年3月5日	一七三	芳沢外務大臣宛(電報)	在広東須磨總領事代理より	廣東側の國民政府に対する態度について	556
八	723	昭和7年3月4日	機密五一	芳沢外務大臣宛	在芝罘内田領事より 芳沢外務大臣宛	撫順炭排斥運動防止に關する内田満鉄總裁との往復書信轉達について	742
五	489	昭和7年3月4日	合七〇〇	別電 右試案	在佐田山臨時代理大使、在ソ連邦 廣田大使、在米國出淵大使他宛電報	我が軍の総攻撃により中国軍は我が撤退要求区域外へ退却について	499
二	161	昭和7年3月3日	四四	芳沢外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 芳沢外務大臣宛	朝鮮總督府よりの避難民帰還のための警察官満州派遣計画提案に対し回答回示方稟請	180
一	31	昭和7年3月2日	九四	別電	在奉天森島總領事代理宛(電報)	信連絡問題に關する對滿蒙実行策案審議委員会の試案轉達について	35
八	817	昭和7年3月1日	機密公合 二六七	芳沢外務大臣宛	在広東須磨總領事代理より 芳沢外務大臣宛	共和報不敬記事事件の解決方について	858
八	722	昭和7年3月1日	商一九	芳沢外務大臣宛(電報)	在中國橫竹大使館商務參事官より	上海各団体より市政府に罷市中止を請願について	741

四	三	六	四	四	四	一	六	一	二	一	八
344	232	522	343	342	341	40	521	39	169	38	726
昭和7年3月26日	昭和7年3月26日	昭和7年3月25日	昭和7年3月25日	昭和7年3月24日	昭和7年3月24日	昭和7年3月24日	昭和7年3月23日	昭和7年3月22日	昭和7年3月21日	昭和7年3月19日	昭和7年3月18日
一一一	合四	二二三	八九	五五一	三二四	四五〇	五一四	一六四	四三四	一一四	
芳沢外務大臣宛(電報)	在牛莊荒川領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	在広東須磨總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 芳沢外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	通商局第三課起案高裁案 付記一 五月十日付蜂須賀南洋協会会頭より武富通商局長宛第六〇七号 南洋方面における排日防遏のための啓発活動実施に関し援助方要請 二 八月十七日付武富通商局長より蜂須賀南洋協会会頭宛半公信
芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	芳沢外務大臣宛(電報)	南洋方面における啓蒙活動強化のための南洋協会への資金援助に関する高裁案
375	272	560	374	373	373	46	559	45	189	44	749

六	四	二	一	二	六	七	四	二	八	八	四	二	七	六	二	一	四	六		
519	339	167	37	175	520	633	340	168	725	726	340	168	633	520	167	37	339	519		
昭和7年3月13日	昭和7年3月14日	昭和7年3月15日	昭和7年3月15日	昭和7年3月15日	昭和7年3月16日	昭和7年3月16日	昭和7年3月17日	昭和7年3月17日	昭和7年3月17日	昭和7年3月18日	昭和7年3月17日	昭和7年3月17日	昭和7年3月16日	昭和7年3月16日	昭和7年3月15日	昭和7年3月15日	昭和7年3月14日	昭和7年3月13日		
天六二二	四〇二	二八六	四一四	二八六	二二九	商二四	四九一	三〇一	機密二六三		四九一	三〇一	商二四	二二九	二八六	四一四	四〇二	天六二二		
菊地支那駐屯軍参謀長より 真崎参謀次長宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在南京上村總領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	在中國横竹大使館商務参事官より 芳沢外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 芳沢外務大臣宛(電報)	在ハルビン大橋總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	通商局第三課起案高裁案 付記一 五月十日付蜂須賀南洋協会会頭より武富通商局長宛第六〇七号 南洋方面における排日防遏のための啓発活動実施に関し援助方要請 二 八月十七日付武富通商局長より蜂須賀南洋協会会頭宛半公信	滿州国成立を機会に日本の支援による蒙古獨立に際し察哈爾方面蒙古人有力者の意向について	滿州里引揚げ民の窮状に救護費支出方稟請	滿州国の海關政策に対する総稅務司の見解ならびにその対策について	反日救国連合会主催の反日市民大会における共產党の活動および韓国独立党のピラ散布について	輸入砂糖の分類法変更による税率改訂の海關告示について	蔣介石が近く軍事委員会委員長に就任し軍事上の全責任を負う旨ロイター通信の報道について	滿州里の中国軍反乱および邦人引揚げのやむなき状況について	吉会線終端港は対ソ連作戦の見地より羅津にすべしとの海軍側意向内報について	三月十四日発在奉天森島總領事代理より芳沢外務大臣宛第四〇三号 右実行手続き案	
557	369	186	44	186	188	662	372	188	746	749	372	188	662	558	188	371	371	370	369	557

二	171	昭和7年4月2日	一三九	芳沢外務大臣より 沢田連盟事務局長宛(電報)	間島地方における中国軍の反日攻勢について……	190
一	49	昭和7年4月2日	二九九	付記 昭和六年十一月一日発在牛莊 関東軍囑託による中国銀行への 塩税剰余金引渡し交渉について	……	52
一	48	昭和7年4月2日	一八八	在南京上村総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	満州国の塩務機関接取に対する中国 外交部長……	51
一	47	昭和7年4月(2)日	五〇五	在吉林石射総領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	吉長・吉敦兩鉄路局による吉海線 委任経営開始について……	50
一	46	昭和7年4月2日	五〇二	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	満州郵政接取に伴う為替および預金 事務の停止について……	50
一	45	昭和7年4月(2)日	四九七	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	塩密輸入に対し満鉄各駅に満州国 検査員を派遣した旨奉天省政府より 申入れについて……	49
七	635	昭和7年4月(1)日	六四	在安東米沢領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	針および満州国の海関長宛否認通 告について……	663
四	348	昭和7年4月1日	二九一	在南京上村総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	砂糖輸入税増徴に対する新税支払 拒否の方針……	377
一	44	昭和7年4月(1)日	四九二	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	満州国の中国銀行に対する関税 収入要求は中国関税主権の完整を 破壊しその責任は日本側にあると の羅外交部長抗議について……	48
一	43	昭和7年4月1日	四九一	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	内地および長江方面よりの邦人の 満州流入状況について……	48
九	852	昭和7年3月31日	機密公九三	在中國重光公使より 芳沢外務大臣宛	シंगाポール華僑の排日状況につ いて……	895
八	729	昭和7年3月30日	機密四六	在シंगाポール伊藤総領事代理 より 芳沢外務大臣宛	正太鉄道回収に関する日本鉄道省 弁事処よりの報告転達について……	757
八	728	昭和7年3月30日	機密一三七	在濟南西田総領事より 芳沢外務大臣宛	濟南総商会は不干涉主義をとり日 貨排斥の気配なき現状について……	756
七	634	昭和7年3月30日	一七	河相関東庁外事課長より 芳沢外務大臣宛(電報)	威海衛において日貨排斥に關連し 学生の反日運動暴動化について……	662
四	347	昭和7年3月30日	三五四	在ハルビン長岡総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	加藤海關監督顧問による中国銀行 への関税収入引渡し要求通告につ いて……	377
八	727	昭和7年3月29日	普通七四	在芝罘内田領事より 芳沢外務大臣宛	砂糖増税問題は海關帰属問題と不 可分につき総稅務司へ態度明示の電 請を大連海關長に依頼について……	755
六	523	昭和7年3月29日	五三七	在上海村井総領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	杜月笙が蔣介石の内命で日中停戰 交渉決裂の際日本軍の後方攪乱を 行うため便衣隊指揮について……	560
一	42	昭和7年3月29日	外秘七七二	大野警視總監より 芳沢外務大臣宛	満鉄による吉長・吉敦・四洮・洮 昂・奉山各線の委任経営開始につ いて……	47
一	41	昭和7年3月29日	九六	在長春田代領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	正金銀行管口支店の税収半額保管 は困難な立場に陥るおそれがあり官 銀号全額保管とすべき旨意見具申 ……	46
三	234	昭和7年3月28日	関機高支 四四七八二	林関東庁警務局長より 永井外務次官他宛	農安分館閉鎖引揚げ方承認につ いて……	273
二	170	昭和7年3月28日	二〇	在長春田代領事宛(電報)	臨時満州中央銀行籌備処の設置 について……	190
三	233	昭和7年3月27日	四六八	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	閩錫山の滄石鉄道敷設計画に關 する大倉組よりの情報について……	273
四	346	昭和7年3月26日	四四	在中國天野大使館參事官より 芳沢外務大臣宛(電報)	中国銀行は小沢海關監督顧問の 関税引渡し要求を拒否について……	376
四	345	昭和7年3月26日	六一	在安東米沢領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	崎川海關監督顧問の関税収入接 収要求を中国銀行拒否について……	376

二	180	昭和7年4月13日	四〇四	芳沢外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡総領事代理より	中東鉄道東部線方面の治安対策につき意見具申	199
一	55	昭和7年4月13日	五七五	芳沢外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より	満州国における日本人の土地所有は法制完備までは不可能だが商租は自由との駒井の談話について	58
八	821	昭和7年4月12日	二七六	芳沢外務大臣宛(電報)	在広東須磨總領事代理より	新聞報不敬記事に関し広東市長に我が解決条件履行方嚴重警告について	862
三	297	昭和7年4月12日	一四五	芳沢外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より	三井・岩崎両家の満州国への借款供与に関し大綱決定について	331
一	54	昭和7年4月12日	一〇八	機密公	在中國重光公使より	珲春方面における日本側警察官の海関への暴行に関する国民政府の抗議は事実に戻する旨回答について	56
八	820	昭和7年4月10日	二〇	一六〇	芳沢外務大臣宛(電報)	新聞報不敬記事事件は重大事につき迅速かつ慎重に処置方訓令	861
一	53	昭和7年4月10日	一六〇	二〇	芳沢外務大臣宛(電報)	北寧線直通運転に関し奉山・北寧両鉄路局間交渉妥結について	56
七	636	昭和7年4月9日	三八八九二	機密高	林閣東庁警務局長より	砂糖輸入税増徴に対し大連の旧税率通関および満州国の各地海関長宛否認通告について	664
一	52	昭和7年4月9日	機密三三五	一六一	芳沢外務大臣宛(電報)	安東密輸取締りの問題点につき朝鮮總督府今井田政務總監と懇談について	54
一	51	昭和7年4月9日	一六一	一六一	芳沢外務大臣宛(電報)	奉山鉄路局への北寧側の山海関駅建物三分の一割譲および張学良の黙認について	53
二	179	昭和7年4月8日	五三九	五三九	芳沢外務大臣宛(電報)	避難民の通遼移住を軍側が不許可とする背景には連盟調査団離満後に熱河征略計画あるとの推測について	199
二	178	昭和7年4月8日	五三八	五三八	芳沢外務大臣宛(電報)	内地人移住の阻害を理由として遼陽などへの帰還不能避難民移住に軍側難色について	198
八	819	昭和7年4月7日	二五九	二五九	芳沢外務大臣宛(電報)	新聞報不敬記事事件解決交渉には海軍力による威圧も必要の旨意見具申	860
八	730	昭和7年4月7日	機密一七九	機密一七九	芳沢外務大臣宛(電報)	排日運動取締りに関する周北平市長との交渉経過について	759
五	491	昭和7年4月7日	機密三九一	機密三九一	芳沢外務大臣宛(電報)	上海事変後居留民に行なつた論告などについて	500
二	177	昭和7年4月7日	普通二四九	普通二四九	芳沢外務大臣宛(電報)	朝鮮人農民保護方に関し鉄嶺県政府より布告発布について	197
一	50	昭和7年4月(7)日	一二五	一二五	芳沢外務大臣宛(電報)	三月未までの朝鮮人避難民帰還状況について	53
八	818	昭和7年4月6日	二五七	二五七	芳沢外務大臣宛(電報)	新聞報の不敬記事に関し広東市長に陳謝および処罰等要求について	858
二	176	昭和7年4月(6)日	五一七	五一七	芳沢外務大臣宛(電報)	安東密輸は連盟調査団来満に際し放置すべきでない旨大橋の内話について	196
二	174	昭和7年4月2日	一九六	一九六	芳沢外務大臣宛(電報)	朝鮮人農民保護方に関し鉄嶺県政府より布告発布について	195
二	175	昭和7年4月3日	一九八	一九八	芳沢外務大臣宛(電報)	三月未までの朝鮮人避難民帰還状況について	194
二	173	昭和7年4月2日	一九五	一九五	芳沢外務大臣宛(電報)	新聞報の不敬記事に関し広東市長に陳謝および処罰等要求について	193
二	172	昭和7年4月2日	合九二三	合九二三	芳沢外務大臣宛(電報)	三月未までの朝鮮人避難民帰還状況について	191

日付索引

三	236	昭和7年4月30日	六六三三ノ二	関機高支 林関東庁警務局長より 永井外務次官他宛	275
六	601	昭和7年4月29日	七	南台湾総督より 芳沢外務大臣宛(電報)	632
八	736	昭和7年4月28日	機密公 一三三	在中国重光公使より 芳沢外務大臣宛	765
四	351	昭和7年4月28日	七三四	在中国重光公使より 芳沢外務大臣宛(電報)	379
一	63	昭和7年4月28日	条二機密 二五一	永井外務次官より 大橋通信次官宛	66
六	525	昭和7年4月27日	三二九	在広東須磨総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	563
二	185	昭和7年4月27日	六六四	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	209
八	825	昭和7年4月26日	三二五	在広東須磨総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	866
六	600	昭和7年4月26日	一八一	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	631
六	599	昭和7年4月26日	二七	芳沢外務大臣より 在厦門三浦領事宛(電報)	629
一	62	昭和7年4月26日	六四七	在奉天森島総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	66
六	598	昭和7年4月25日	三一八	在広東須磨総領事代理より 芳沢外務大臣宛(電報)	628
一	61	昭和7年4月25日	合六一	在安東米沢領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	65
六	597	昭和7年4月24日	一七四	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	627
六	596	昭和7年4月24日	一六九	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	626
六	595	昭和7年4月23日	一七〇	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	626
六	594	昭和7年4月23日	一六七	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	624
六	593	昭和7年4月23日	一六三	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	623
八	824	昭和7年4月22日	二六	在広東須磨総領事代理宛(電報)	865
六	592	昭和7年4月22日	一六六	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	622
六	591	昭和7年4月22日	一六二	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	621
四	350	昭和7年4月22日	五七	在牛莊荒川領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	379
一	60	昭和7年4月22日	一七八	在天津桑島総領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	65
六	590	昭和7年4月21日	一五四	在厦門三浦領事より 芳沢外務大臣宛(電報)	621

三	六	三	六	六	四	三	三	一	一	八	三	九	九	七	四	六	五	三	三	六	六		
302	616	244	537	536	355	301	243	71	70	829	300	856	855	641	354	614	498	242	241	613	612		
昭和7年6月(11)日	昭和7年6月10日	昭和7年6月10日	昭和7年6月9日	昭和7年6月8日	昭和7年6月8日	昭和7年6月(7)日	昭和7年6月(7)日	昭和7年6月7日	昭和7年6月7日	昭和7年6月4日	昭和7年6月4日	昭和7年6月3日	昭和7年6月2日	昭和7年6月2日	昭和7年6月2日	昭和7年6月1日	昭和7年6月1日	昭和7年6月1日	昭和7年5月31日	昭和7年5月30日	昭和7年5月28日		
五〇九	四四六	五〇四	四三〇	一〇一	半公信	四九四	二八八	二九八	九二五	三六	二八〇	機密公 一七二	機密公 一六八	三三五	三〇三	八八五	六二	二九五	五〇	二九五	五〇		
齋藤外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 齋藤外務大臣宛	在広東須磨総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在香港吉田総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	松田条約局長より 大連商工会議所篠崎宛	在仏国長岡大使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理宛(電報)	齋藤外務大臣より 在仏国長岡大使宛(電報)	在中国重光公使より 齋藤外務大臣宛	在中國重光公使より 齋藤外務大臣宛	在間島岡田総領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在廈門三浦領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	亜細亜局第二課起案高裁案	付記一 五月十一日、亜細亜局第二課相場理事官作成 「上海爆弾犯人檢舉ノ爲憲兵駐屯ニ關スル件」	付記一 五月二十五日、亜細亜局第二課作成 「上海総領事館特高警察部設置問題ニ関シ陸軍省國分少佐ト會見」	付記一 五月二十七日、亜細亜局第一課起案高裁案 「上海特高機關擴充促進方過渡的辦法ニ關スル件」	在廈門三浦領事宛(電報)	在廈門三浦領事宛(電報)	
英國をして列國と協調仕向け一方訓令	共産軍急遽撤兵の状況および原因等について	正金銀行營口支店保管税収の中國銀行移管は 稅務司の同意必要のため実行困難な事情につ いて	正金銀行營口支店の保管税収問題は承認問題 と一括解決が得策との意見具申	在上海總領事館特高警察機關擴充について	滬石鐵道借款問題に關し中國外交部に異議申 入れについて	滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について	一機密第六号 滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について	一機密第六号 滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について	一機密第六号 滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について	一機密第六号 滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について	一機密第六号 滬石鐵道敷設問題に關する當面の我が方態度について												
336	648	282	573	572	383	336	282	73	72	870	335	335	907	668	382	646	523	521	519	515	281	645	644

四	四	四	三	八	四	四	四	三	四	三	六	三	四	三	六	四	四	四	四	二	八	七	六	六	
367	366	365	249	738	364	363	362	248	361	247	538	246	360	245	615	359	358	357	356	187	830	642	618	617	
昭和7年6月21日	昭和7年6月21日	昭和7年6月21日	昭和7年6月21日	昭和7年6月20日	昭和7年6月20日	昭和7年6月20日	昭和7年6月20日	昭和7年6月20日	昭和7年6月18日	昭和7年6月18日	昭和7年6月17日	昭和7年6月16日	昭和7年6月15日	昭和7年6月15日	昭和7年6月14日	昭和7年6月14日	昭和7年6月14日	昭和7年6月13日	昭和7年6月13日	昭和7年6月12日	昭和7年6月11日	昭和7年6月11日	昭和7年6月11日	昭和7年6月11日	
九八九	三六	三三四	九八五	二五七	三三一	三五	九七五	一一一	合一一三五七	三三	九六七	一二七	九六一	三一	三二三	一一五	三二〇	三〇	一一二	四三一	一一一	四五二	九四五		
在奉天森島總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中国守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在英國松平大使 在米國出淵大使)宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在厦門三浦領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在問島岡田總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在南京上村總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 齋藤外務大臣宛(電報)		
満州国の大連海関即時接收への我が方対応振 りについて	満州国の瓦房店海関設置に関する関東庁とし ての対策について	満州国の大連海関接收方策に関し我が方公使 に報告について	満州国の塩税外債負担分等の送金延滞を督促 のため塩務総弁による日本人塩務官吏派遣に ついて	汪院長が日貨抵制は人民自由の権利と声明し た旨の報道について	満州国の海関接收強行に際する総稅務司におよ び財政部長の反応について	福本海関長の總稅務司への送金問題に関する 関東庁の対応振りについて	満州海関問題に関する我が方公使館側の態度 に大橋不満表明について	中国銀行による保管海関稅收の満州国引渡し 実施について	満州海関問題に関し満州国と總稅務司間の交 渉斡旋方我が方中国公使に指示について	満州海関長への回答振りについて	蔣駐日公使の新聞記者への談話について	海関收入の満州国以外への送金禁止につき正 金銀行大連支店への財政部總長通達について	福本海関長が總稅務司へ満州国の要求を支持 すべく勧告する旨河相外事課長より報告につ いて	鼓浪嶼側避難の邦人家族、警察分署員家族等 に厦門側に復帰方示達並び応援警察官の帰還 予定について	渡辺副稅務司の満州国海関への移籍拒否につ いて	張学良の王徳林宛激励訓令について	満州国による海関接收に対する渡辺副稅務司 の反応について	福本大連海関長への満州国の警告に対する福 本の反応について	満州国の海関接收実施の意向について	華強日報不敬号外事件に関する市当局の遺憾 の意表明について	砂糖輸入税増徴への日本側支払い拒否に対す るトルボット海関長の反駁について	沈外交部亞州司長の中ソ復交問題等に関する 記者団への談話について	国民政府がソ連邦と国交回復交渉のため莫徳 恵を伊国からモスクワ帰還方電命との新聞報 道について		
392	391	390	285	767	390	389	389	285	388	284	574	284	387	283	647	386	386	385	384	215	870	670	669	649	648

一	四	六	四	四	四	四	四	七	七	四	四	三	一	九	七	四	三	一	四	三	二	九	四	
74	378	539	377	376	375	374	373	645	644	372	371	252	73	858	643	370	251	72	369	250	188	857	368	
昭和7年6月27日	昭和7年6月26日	昭和7年6月25日	昭和7年6月25日	昭和7年6月25日	昭和7年6月25日	昭和7年6月25日	昭和7年6月25日	昭和7年6月24日	昭和7年6月24日	昭和7年6月24日	昭和7年6月24日	昭和7年6月24日	昭和7年6月24日	昭和7年6月23日	昭和7年6月23日	昭和7年6月23日	昭和7年6月23日	昭和7年6月23日	昭和7年6月22日	昭和7年6月22日	昭和7年6月22日	昭和7年6月21日	昭和7年6月21日	昭和7年6月21日
三六二	一三八	四八九	四九	一〇〇七	一〇〇六	四七	四五	四一	一三五	一〇〇〇	四〇	三五三	合三三	九九八	四八四	二五八	三四九	機密五三三	三九	三八	三七六	三一七	三七	
在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中国守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在牛莊荒川領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在英国齋藤臨時代理大使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館参事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	
滿州国政府より瓦房店に税関設置の意向通知 について	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)
齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)	齋藤外務大臣宛(電報)
75	399	575	398	398	397	397	396	672	671	395	395	287	75	908	671	394	286	74	394	286	216	908	393	
滿州国交通部に新設される航政局による遼河 工程局接収までは海關監督を工程局督弁とす るに異議なき旨の滿州国側意向について	滿州国側の強行接収に対する安東海関長の反 応について	行政院會議において従来の軟弱外交を改め上 海および滿州問題にも強硬な自主的手段を執 る旨決定との民生報報道について	大連海關日本人関員全員の辞表提出について	總稅務司が岸本の大連海關長就任に我が方公 使の同意を要請について	福本罷免のやむを得ざる事情に関し總稅務司 の説明について	福本罷免の理由を宋財政部長に問合せ方我が 方公使に依頼について	中国の關稅徵收權は付屬地行政權を超越した 權利との大橋の見解について	大連海關砂糖稅支払い拒否を安東における同 稅實施拒否の理由とするとの差止めについ て	砂糖輸入稅問題に關する關係者協議會におい て海關側と妥協成立について	總稅務司より岸本に大連稅關長に就任の意向 打診について	滿州国政府より瓦房店に税関設置の意向通知 について	遼河工程局に対する滿州国よりの組織等通報 要求問題解決方につき意見具申	遼河工程局に対する滿州国よりの組織等通報 要求問題解決方につき意見具申	汪兆銘一行の北京行の用務等に関する李思浩 の内話について	砂糖増稅大連海關拒否問題の責任は日本政府 にある旨の中國側再抗議について	滿州国の大連海關接収に關する英ガーディア ン紙論說について	塩稅收入の外債負担分は各債權國との直接交 渉で解決すべきとの滿州国方針について	滿州国遊動警察隊による密輪朝鮮人射殺事件 について	メーズ總稅務司福本大連海關長を命令不服従 と非難について	正金銀行營口支店の關稅收入上海送金拒絶は 中國銀行經由の協定に基づくためとの總稅務 司への同行回答について	居留民の自發的自衛團組織に関し經費支弁方 稟請	正太鐵道新借款契約成立に關する仏國公使館 員の內話について	總稅務司の送金要求を福本拒否の現状につい て	

一	75	昭和7年6月27日	機密六五九	在間島岡田総領事より 齋藤外務大臣宛	間島地方在住朝鮮人に対する正当な満州国課税には納税を督促方管下分館主任および警察責任者宛訓令について	76
三	253	昭和7年6月27日	一〇二一	在中国守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	中国銀行經由の協定を理由とした正金銀行の関稅收入送金拒絶に対する總稅務司反駁について	287
四	379	昭和7年6月27日	一〇二三	在中国守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	福本の罷免を海關設置協定違反とする日本の見解につき總稅務司反駁について	399
四	380	昭和7年6月27日	五一	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	大連海關長罷免に関するメーズ總稅務司の措置は同海關設置協定違反と認められる旨意見具申	400
四	381	昭和7年6月27日	三三八	在中国矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	イングラム英国代理公使が宋財政部長に満州海關問題に關し過激手段を採らないよう勸告について	401
四	382	昭和7年6月27日	三九二	在間島岡田總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	満州国財政部より宮本海關監督顧問に竜井村海關の接收強行を指示について	401
六	540	昭和7年6月27日	一〇一六	在中国守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	蔣駐日公使一行の隨員として渡日予定の王長春が同公使の対日交渉腹案につき内話について	575
三	254	昭和7年6月28日	関參滿二九	付記 八月二十四日、内田外務大臣・在本邦蔣中国公使会谈要領 日中問題解決方について	満州中央銀行の營業方針について	576
四	383	昭和7年6月28日	一〇二五	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	總稅務司に対し岸本の現職維持を勸告について	402
四	384	昭和7年6月28日	一〇四七	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	岸本の一時帰国について	403
三	255	昭和7年6月29日	五五	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	中国関稅担保外債償還額中の満州国負担分に関する福本海關長の試算について	290
四	385	昭和7年6月29日		在本邦リンドレー英国大使 会谈要旨 有田外務次官	中央銀行開業に伴う首腦者協議、紙幣印刷状況および財政部布告について	291
四	386	昭和7年6月29日		在本邦グループ米国外使 会谈要旨 有田外務次官	満州海關問題に關する英国の見解および我が方反駁について	403
四	387	昭和7年6月29日	二六一	在英国沢田臨時代理大使より 齋藤外務大臣宛(電報)	満州海關問題と日本の關係について	405
四	388	昭和7年6月29日	六五四	在ハルビン長岡總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	英國外務次官補に福本罷免問題の経緯説明について	406
四	389	昭和7年6月29日	六五五	在ハルビン長岡總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	ハルビン海關が満州国税関として執務開始について	407
四	390	昭和7年6月29日	一〇三〇	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	ハルビン海關長の要求により開催された領事會議の審議状況について	408
四	391	昭和7年6月29日	一四一	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	福本への退職金に關する岸本の内話について	408
四	392	昭和7年6月29日	一〇三一	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	満州国による安東海關接收状況について	409
四	393	昭和7年6月29日	五六	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	宋財政部長の満州海關接收問題に關する抗議に對し日本の責任を問われるのは了解に苦しむと回答した旨稟請	409
四	394	昭和7年6月29日	機密三四九	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛	大連海關中国人海關員の執務拒否について	410
一	76	昭和7年6月30日	合四〇	在牛莊荒川領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	大連海關問題に關し在中國ジョンソン米国公使は日本との協力を拒否について	411
四	395	昭和7年6月30日	一四二	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	國際機關である遼河工程局に對する満州国側接收には絶対反対の旨長春領事宛電報	77
					トルポット安東海關長より安東駅構内海關派出所に對する満州国の措置に關し問合せについて	412

一	四	四	一	四	四	二	四	七	四	四	四	三	九	四	四	四	九	六	四	四	四	四	
78	410	409	77	408	407	189	406	646	405	404	403	257	860	402	401	400	859	541	399	398	397	396	
昭和7年7月6日	昭和7年7月5日	昭和7年7月5日	昭和7年7月5日	昭和7年7月4日	昭和7年7月4日	昭和7年7月4日	昭和7年7月3日	昭和7年7月2日	昭和7年7月2日	昭和7年7月2日	昭和7年7月2日	昭和7年7月2日	昭和7年7月1日	昭和7年7月1日	昭和7年7月1日	昭和7年7月1日	昭和7年6月30日	昭和7年6月30日	昭和7年6月30日	昭和7年6月30日	昭和7年6月30日	昭和7年6月30日	
三八七	一五三	六〇	四〇三	一五一	一四八四	一〇三六	三五八	八五五 四二	一〇四四	三七七	四〇六	一〇九四 三	五〇二	四〇四	一五〇	一四六	三五三	四七〇	三五五	三五四	三五〇	八〇	
内田外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	山岡閣東長官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在英國沢田臨時代理大使 在米田出淵大使	在奉天森島總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	林閣東庁警務局長より 有田外務次官宛 堀切拓務次官宛	在中國守屋臨時代理公使より 齋藤外務大臣宛(電報)	在長春田中領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在間島岡田總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在間島岡田總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在東京上村總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在間島岡田總領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在中國矢野大使館參事官より 齋藤外務大臣宛(電報)	在牛莊荒川領事より 齋藤外務大臣宛(電報)	
遼河工程局の組織変更はせず航政局付属とする満洲国大橋外交部次長の提案に対し日本政府の意向回示方稟請	トルボット海関長より付属地内海関業務の停止に關し抗議について	租借地内の満洲国海関の現状について	管口海関監督の遼河工程局督弁就任につき了解要請方同地領事宛公信の送付	満洲国官憲による安東海関員五名の付属地外における一時逮捕実施について	満洲国による満洲各地海関接収の概況について	東辺道の治安回復のための朝鮮軍出動につき軍側と協議方稟請	満洲海関問題解決に關するイングラム英國代理公使の見解ならびに観測について	海関接収に際し満洲国は従来の税率を踏襲するか砂糖のみは増税以前の税率により徴収について	延吉海関員六十四名中五十名満洲国海関に残留について	満洲国は海関接収を付属地内にも強行の意向について	日本人のチーフセクレタリー任命に關するメイズ総稅務司の談話について	海関接収に關するトルボット海関長抗議文	竜井村海関接収強行に關する状況について	兪國財団と中國間に滄石鐵道借款仮契約成立したが本契約は二箇月後調印の予定について	満洲国新旧貨幣換算率標準の決定について	滿州國新舊貨幣換算率標準の決定について	滄石鐵道借款に關し兪國公使に抗議申入れについて	政權侵害につき同國に説明方要求について	滿州國による海関接収強行に對するトルボット海関長抗議文	七月一日發在安東米沢領事より齋藤外務大臣宛第一四八号	滿州國による海関接収強行に對するトルボット海関長抗議文	滿州國による海関接収強行に對するトルボット海関長抗議文	滿州國による海関接収強行に對するトルボット海関長抗議文
79	425	424	78	423	422	220	422	420	673	419	418	293	910	418	417	416	415	909	577	414	413	412	

三	303	昭和7年7月12日	三三六	内田外務大臣より 在仏國栗山臨時代理大使宛(電報)	仏國投資に対する満州国提示事業の詳細計画……………	337
八	741	昭和7年7月11日	機密公 二〇八	内田外務大臣宛	部回答送付について……………	770
八	740	昭和7年7月11日	四八七	在漢口坂根総領事より 内田外務大臣宛(電報)	日貨排斥対策のための漢口新聞界および実業 界有力者との接触振りについて……………	769
四	418	昭和7年7月11日	一五一	内田外務大臣より 在ハルビン長岡総領事代理宛(電報)	海関問題に関するハルビン領事団の対応振り について……………	431
一	84	昭和7年7月11日	四〇三	在長春田中領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	遼河工程局組織は従前通りとし海関監督を督 弁とする旨の大橋次長内話について……………	85
一	83	昭和7年7月11日	四〇二	内田外務大臣宛(電報)	満州国の熱河阿片による財政収入計画に関す る大橋外交部次長談について……………	84
二	193	昭和7年7月9日	三二七	在吉林石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	兵匪横行による吉敦・吉海両鉄道沿線への奥 地よりの避難民に対する救護費支出方稟請……………	224
一	82	昭和7年7月9日	二九三	有田外務次官他宛	関東州より天津方面への密輸ならびに安東密 輸の取締り強化の状況通報について……………	82
一	81	昭和7年7月9日	一四〇	内田外務大臣より 在長春田中領事代理宛(電報)	遼河工程局は航政局付属とせず組織は従前通 りとしたき意向大橋次長宛回示について……………	82
七	647	昭和7年7月8日	八七八 八	林関東庁警務局長より 有田外務次官他宛	内地における撫順炭輸入阻止運動に対する満 鉄の対応について……………	673
四	417	昭和7年7月8日	機密五八一	内田外務大臣宛	日本入満州国警察官の付属地外における行動 に對し我が方は関与し得ない旨英国総領事に 回答について……………	430
四	416	昭和7年7月8日	六七四	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	ハルビン特区警察による海関長宅その他の捜 査について……………	429
四	415	昭和7年7月8日	三六四	内田外務大臣宛(電報)	イングラム英国代理公使の海関問題解決私案 に英国政府は同意との本人内話について……………	429
三	259	昭和7年7月8日	機密公 二〇六	内田外務大臣宛	海関収入送金問題に関し満州国の措置に日本 政府は何ら責任を負わぬ旨中国外交部長宛回 答について……………	295

二	190	昭和7年7月6日	一〇三九	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	奉天における避難民対策について……………	221
三	258	昭和7年7月6日	一〇五〇	在中国守屋臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	大連海関収入送金拒否は日本による大連海関 協定破壊との総務司声明について……………	294
四	411	昭和7年7月(6)日	二六七	在英国沢田臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	大連海関問題等に関する英国下院の質疑状況 について……………	425
一	79	昭和7年7月7日	一〇四一	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州国実業部の金、鉄等七種鉱物の国営化発 表について……………	80
四	412	昭和7年7月7日	一三五	内田外務大臣より 在長春田中領事代理宛(電報)	中国本部海関に勤務の日本人海関員の処遇に ついて……………	426
四	413	昭和7年7月7日	一〇四二	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	海関等に勤務の間島在住英国人保護に関する 英国総領事館員申出について……………	427
四	414	昭和7年7月7日	八六八 三	林関東庁警務局長より 有田外務次官他宛	満州国の海関接収による大連海運界への影響 について……………	428
八	739	昭和7年7月7日	公七六七	在広東須磨総領事代理より 内田外務大臣宛	日貨取扱いに對する懲戒弁法について……………	768
一	80	昭和7年7月8日	一四九	内田外務大臣より 在ハルビン長岡総領事代理宛(電報)	ハルビン埠頭棧橋掃屑に關するソ満紛争に對 し日本政府の斡旋方ソ連大使より申入れにつ いて……………	80
二	191	昭和7年7月8日	一〇四六	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	東辺道治安悪化に伴う避難民救済のため七月 より三ヶ月分の経費支弁方稟請……………	222
二	192	昭和7年7月8日	六七二	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	北滿方面における避難民収容状況について……………	223
三	259	昭和7年7月8日	機密公 二〇六	在中國堀内公使館一等書記官より 内田外務大臣宛	海関収入送金問題に關し満州国の措置に日本 政府は何ら責任を負わぬ旨中国外交部長宛回 答について……………	295

六	542	昭和7年7月12日	四九二	別電 在広東須磨総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	七月十二日発内田外務大臣より在仏国栗山臨時代理大使宛第三三七号 須磨離任に当り林広東省主席と日中関係に關し意見交換について	338
四	419	昭和7年7月13日	五一六	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	総務司による福本大連海關長の罷免は正当な職権の行使であるとの外交部通告について	434
四	420	昭和7年7月13日	機密五九〇	在安東米沢領事より 内田外務大臣宛	トルボット海關長の安東海關押収書類返還申出への対応について	435
一	85	昭和7年7月14日	四一六	在ソ連邦広田大使より 内田外務大臣宛(電報)	ハルビン埠頭棧橋帰属問題に關し日本政府を非難する旨のカラハン談話について	85
一	86	昭和7年7月14日	一〇六三	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州国の鉅山國営は重要鉅石の確保が目的との軍特務部の情報について	86
三	260	昭和7年7月14日	一〇六一	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	塩務總弁派遣の日本人塩務官吏來訪報告および債権國との直接交渉よりも塩税外債負担分の塩務稽核總所送金が得策との意見具申	297
三	261	昭和7年7月14日	四一一	在長春田代領事より 内田外務大臣宛(電報)	中国関税担保外債の償還額のうち満州国負担分を外国銀行に積立て支払いに應じる旨の謝介石外交部總長の声明について	298
四	421	昭和7年7月14日	一〇六六	在中國堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	別電 七月十四日發在長春田代領事より内田外務大臣宛第四一二号 右声明文	298
九	861	昭和7年7月14日	三六九	在中國矢野大使館參事官より 内田外務大臣宛(電報)	總務司より岸本大連海關長任命に關する日本との不同意に疑義表明について	436
三	262	昭和7年7月15日	六九一	在ハルビン長岡總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鐵道借款契約に關する仏國公使館員の極秘内話について	910
四	422	昭和7年7月15日	一〇六八	在中國堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	外債負担分の積立てに關し満州国の香港上海銀行への依頼交渉について	299
七	648	昭和7年7月15日	機密公 二一〇	在中國堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛	總務司より岸本大連海關長任命への同意を督促について	437
三	263	昭和7年7月16日	四一六	在長春田代領事より 内田外務大臣宛(電報)	砂糖増税大連海關拒否問題は日本政府の責任外との外交部長宛回答文送付について	674
四	423	昭和7年7月16日	三七一	在中國矢野大使館參事官より 内田外務大臣宛(電報)	正金銀行上海送金の容認に際しての満州國財政部による条件提示について	299
七	649	昭和7年7月16日	四九八	在漢口坂根總領事より 内田外務大臣宛(電報)	メイズ總務司より満州國の海關接收に日本軍人の関与を抗議について	438
八	742	昭和7年7月16日	商五五	在中國横竹大使館商務參事官より 内田外務大臣宛(電報)	満州國海關發行書類の取扱いは従來通りとするとの總務司回訓につき海關側より通牒について	676
六	619	昭和7年7月18日	八五一	在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)	上海日本品市場の回復兆候について	772
七	650	昭和7年7月19日	五二二	在南京上村總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	中ソ兩國が各提出した復交の先決条件に關する情報について	650
九	862	昭和7年7月20日	三一四	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	満州移出入品への輸出入税等賦課につき財政部検討との報道について	676
一	87	昭和7年7月21日	七一	山岡関東長官より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鐵道借款問題に對する何澄の意向ならびに井陘炭運搬鐵道の滿鉄出資に關する中国側關係要人の内話について	911
二	194	昭和7年7月21日	三四一	在吉林石射總領事より 内田外務大臣宛(電報)	密輸取締り強化の成果について	86
三	264	昭和7年7月21日	四二二	付記一 四月四日發在吉林石射總領事より芳沢外務大臣宛電報要旨 有木巡查ほか二名の殺害事件につき報告 二 五月十七日發在吉林石射總領事より芳沢外務大臣宛電報要旨 有木巡查殺害事件に關し吉林省側との賠償交渉について	三道溝において満州國護衛兵の背反により殺害された有木巡查に對する慰謝料について	224
				在長春田代領事より 内田外務大臣宛(電報)	關稅收入上海送金は大連分のみとする満州國意向および正金銀行への同國政府の不満について	300

二	195	昭和7年7月22日	合一五七一	内田外務大臣より 在米に出淵大使宛(電報)	張学良軍の河北省北辺への移動および朝陽寺事件の発生について	226
二	196	昭和7年7月22日	三九五	内田外務大臣より 在奉天森島総領事代理宛(電報)	東辺道方面における朝鮮人避難民の救済費支弁につき承認方回訓	227
四	424	昭和7年7月22日	一〇八五	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	「在滿避難鮮人救護費用(居留民救護費)追加方ニ關スル件」 福本罷免問題に關し大連海關協定違反と外交部へ回答すべく伺出について	228
六	543	昭和7年7月22日	三八三	在中国矢野大使館參事官より 内田外務大臣宛(電報)	国民政府当局者の現下内外政に關する内話について	439
三	265	昭和7年7月23日	一〇九〇	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	中国政府は正金銀行の関稅收入送金拒否を公表の用意ありとの總稅務司の談話について	301
八	743	昭和7年7月23日	機密五六八	在漢口坂根總領事より 内田外務大臣宛	重慶における軍艦比良への投石事件顛末を含む加峰警部の重慶および万県出張復命書送付について	772
三	266	昭和7年7月25日	四二九	在長春田代領事より 内田外務大臣宛(電報)	正金銀行大連支店より関稅收入上海送金に關し滿州国政府声明發表について	301
一	88	昭和7年7月26日		別電 七月二十五日發在長春田代領事より内田外務大臣宛第四三〇号 右声明文 閣議決定	滿州国と中国の海關間の關係断絶に伴う書類不備による輸入稅供託の実例について	302

在滿機關統一要綱

付記一 六月(日付不明)、外務省作成
「在滿帝國諸機關統一ニ關スル件」

二 六月二十五日、外務・陸軍・拓務・大藏四省次官會議決定
「駐滿特派總監府官制案」

三 谷重細亜局長作成(日付不明)
「臨時特命全權大使案」

四 七月二十二日、關係省次官會議決定
「滿洲派遣臨時特命全權大使二件ヲ施設要綱」

七 651 昭和7年7月26日 五一六
在漢口坂根總領事より
内田外務大臣宛(電報)

九 863 昭和7年7月26日 合一五九三
内田外務大臣より
在中国堀内臨時代理公使、在中國矢野大使館參事官、在天津桑島總領事他宛(電報)

三 267 昭和7年7月27日 機密六二六
在安東米沢領事より
内田外務大臣宛

六 620 昭和7年7月27日 四四七
在ソ連邦広田大使より
内田外務大臣宛(電報)

八 744 昭和7年7月28日 機密公
在廣東吉田總領事代理より
内田外務大臣宛

七 652 昭和7年7月29日 八八一
在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

一 89 昭和7年7月30日 亞二機密合
内田外務大臣より
ハルビン長岡總領事代理、在チチハル清水領事、在滿州里山崎領事宛

七 653 昭和7年7月30日 八八五
在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

七 654 昭和7年7月30日 四五一
在長春田代領事より
内田外務大臣宛(電報)

五 499 昭和7年7月31日 六一九
在長春田代領事より
内田外務大臣宛(電報)

輸出入貨物に五分の附加稅賦課などの海關告示について
中国が滿州海關封鎖措置に出た場合の滿州国側對抗策について
共産運動に關する日仏情報交換を仏国側に提議しこれを明治四十年日仏協約の追補とすべき旨意見具申

六 544 昭和7年7月31日 三九七 在中国矢野大使館参事官より
内田外務大臣宛(電報)

八 月

一 90 昭和7年8月1日 四五六 在間島岡田総領事より
内田外務大臣宛(電報)

付記一 七月二十五日

「郵政接收問題ノ経緯ニ關スル滿洲國政府ノ發表」

二 七月二十六日

「郵政業務開始ニ關スル滿洲國政府ノ公表」

一 91 昭和7年8月1日 八九一 在上海村井総領事より
内田外務大臣宛(電報)

在中国堀内臨時代理公使より

三 268 昭和7年8月1日 一一〇〇 内田外務大臣宛(電報)

在長春田代総領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

三 269 昭和7年8月1日 四五七 在長春田代總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

三 270 昭和7年8月1日 四五七 在長春田代總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

七 655 昭和7年8月1日 三〇五 在天津桑島總領事より
内田外務大臣宛(電報)

三 271 昭和7年8月2日 一一〇六 在中国堀内臨時代理公使より
内田外務大臣宛(電報)

七 656 昭和7年8月2日 八九四 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

七 657 昭和7年8月2日 一一〇七 在中国堀内臨時代理公使より
内田外務大臣宛(電報)

北平政務委員全体會議の模様に関する周作民
の内話について……………580

郵便業務の滿洲国への移管完了と新切手の發
売開始について……………95

……………96

……………96

中国交通部における滿州との電信連絡遮断計
画の報道について……………97

……………303

……………303

……………304

……………304

……………304

……………679

……………305

……………679

……………680

七 658 昭和7年8月2日 五四八 在南京上村總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

一 92 昭和7年8月3日 申字二〇九 在本邦蔣中国公使より
内田外務大臣宛

三 304 昭和7年8月4日 四二〇 内田外務大臣より
在奉天森島總領事代理宛(電報)

別 電 八月四日發内田外務大臣より
在奉天森島總領事代理宛第四二一號
……………339

七 659 昭和7年8月4日 八九六 在上海村井總領事より
内田外務大臣宛(電報)

三 305 昭和7年8月5日 六二八 在仏国長岡大使より
内田外務大臣宛(電報)

一 93 昭和7年8月6日 一一一 在中国堀内臨時代理公使より
内田外務大臣宛(電報)

一 94 昭和7年8月6日 一三三 林関東庁警務局長より
永井外務次官他宛

三 306 昭和7年8月6日 四七五 在長春田中總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

別 電 八月六日發在長春田中總領事代理より
右滿洲国側回答案

……………342

……………682

……………683

……………100

……………580

日付索引

一	四	三	三	三	八	二	八	一	三	三	六	三	二	三	六	六	一	六	六	二	七				
98	425	309	275	274	746	199	745	97	308	273	550	272	198	307	549	548	96	547	546	197	662				
昭和7年8月25日	昭和7年8月24日	昭和7年8月23日	昭和7年8月23日	昭和7年8月23日	昭和7年8月21日	昭和7年8月21日	昭和7年8月20日	昭和7年8月19日	昭和7年8月17日	昭和7年8月14日	昭和7年8月12日	昭和7年8月12日	昭和7年8月12日	昭和7年8月11日	昭和7年8月10日	昭和7年8月10日	昭和7年8月10日	昭和7年8月9日	昭和7年8月9日	昭和7年8月9日	昭和7年8月8日				
条二機密 三九	五九〇	三八七	機密公 五二七	五二七	三七四	機密公八七	商六一	一七九	一一八四	機密公八三	一四六	一三九七二 一三九七二	一一七五	四八五	七〇七 一八	九〇七	一一六七	二〇八	九〇六	七五八	四七八				
付記一 右中国政府抗議に対する回答 八月五日発有田外務次官より 中西通信次官宛公信条二機密第四六〇号	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在仏国長岡大使宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在厦門三浦領事より 内田外務大臣宛(電報)	在ブラゴヴェスチェンスク豊原領 事館事務代理より 内田外務大臣宛	在中國横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛(電報)	在安東笠原領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	別電 八月十七日発在奉天森島總領事代理より 右軍側修正意見	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在ブラゴヴェスチェンスク豊原領事 代理より内田外務大臣宛	在香港桑折總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	付記 外務省作成(日付不明) 「南京政府ノ債務整理促進方ニ關スル件」	武内横浜正金銀行副頭取より 谷亜細亜局長宛	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在濟南西田總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より 内田外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中總領事代理より 内田外務大臣宛(電報)				
………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………	………				
103	102	440	345	344	308	307	781	231	780	101	344	343	306	587	305	230	342	586	584	583	100	583	581	230	684

四	一	二	二	一		二	二	六	三	一	六	三	一	八	六	三	二	八	六	四			
427	102	204	203	101	九 月	202	201	554	311	100	553	276	99	748	552	310	200	747	551	426			
昭和7年9月3日	昭和7年9月3日	昭和7年9月2日	昭和7年9月2日	昭和7年9月1日		昭和7年8月31日	昭和7年8月31日	昭和7年8月30日	昭和7年8月30日	昭和7年8月30日	昭和7年8月29日	昭和7年8月29日	昭和7年8月29日	昭和7年8月27日	昭和7年8月27日	昭和7年8月27日	昭和7年8月27日	昭和7年8月26日	昭和7年8月25日	昭和7年8月25日			
一一四八	三五八二	外七〇	五六〇	一七		五五五	合 一七六	四三九	六七九	九	五三六	一五三九四	四	機密四六一	合 一七四五	三五〇〇	三九三	九五三	一一二九	五九一			
内田外務大臣宛(電報)	林閣東庁警務局長より有田外務次官宛	内田外務大臣宛(電報)	宇垣朝鮮総督より内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より内田外務大臣宛(電報)		在長春田中総領事代理より内田外務大臣宛(電報)	在米田外務大臣より在仏田長岡大使宛(電報)	内田外務大臣より在米田外務大臣宛(電報)	在仏田長岡大使より内田外務大臣宛(電報)	在滿州国武藤大使より内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	林閣東庁警務局長より有田外務次官宛	在滿州国武藤大使より内田外務大臣宛(電報)	在青島堀総領事代理より内田外務大臣宛(電報)	在英國松平大使、在米田出淵大使、在ソ連邦田田大使他宛(電報)	有田外務次官他宛	在吉林森岡総領事代理より内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より内田外務大臣宛(電報)	在中國天野臨時代理公使より内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より内田外務大臣宛(電報)		
悪影響を及ぼすべく解決斡旋方について	トルボットに対する崎川顧問の圧力は意外の策について	拉賓線計画に対する中東鉄道ソ連側幹部ノ対策について	満州奥地出張警察官の引揚げは収穫期終了後にされたき旨要請	熱河における張警察官の行動に對する抗議電報の發出および内外への公表について	日滿議定書調印の際発表すべき日本政府声明書について	熱河における張学良軍の行動に對する満州国抗議電報案に關し閣東軍意向回示方同国政府より依頼について	熱河における張学良軍の行動に對する満州国抗議電報案に關し閣東軍意向回示方同国政府より依頼について	有吉公使の国書捧呈の時、場所等につき中国側と打合せ方訓令	満州国回答伝達後のドリルの仏国投資団調整活動について	「鉱業権協定」と関連し發表予定の交換公文案決定について	内田外務大臣の議会演説により北方將領の対日感情激化等の商震内話について	青島において活動を開始した血魂除奸団の状況について	日滿議定書関連の「軍事協定」「国防上必要なる鉱業権の設置に關する協定」等の案文について	日本にて製造の中央銀行紙幣長春に到着について	米國銀行家の滿州經濟狀況調査について	軍事委員會北平分会成立をめぐる蔣・汪対立の状況について	高沢巡査ほか拉致事件に關し人質解放のため匪賊側との身代金交渉開始方意見具申	呉上海市長が日本側の刺激的行動差控えを要求について	沈亜州司長に滿州海關問題に關し妥協の成立に努力すべき旨勧告について	有吉公使の国書捧呈の時機は滿州国承認前に行うべきとの意見具申			
441	107	237	236	106	236	235	235	234	592	347	106	105	591	313	783	589	346	233	232	782	588	440	103

三	三	二	八	七	六	四	二	九	三	二	二	一	九	三	三	八	八	一	三	六	八	四
282	281	208	750	663	556	429	207	865	280	206	205	104	864	279	278	832	831	103	277	555	749	428
昭和7年9月13日	昭和7年9月12日	昭和7年9月12日	昭和7年9月10日	昭和7年9月10日	昭和7年9月10日	昭和7年9月10日	昭和7年9月10日	昭和7年9月9日	昭和7年9月9日	昭和7年9月9日	昭和7年9月9日	昭和7年9月9日	昭和7年9月8日	昭和7年9月8日	昭和7年9月8日	昭和7年9月7日	昭和7年9月7日	昭和7年9月7日	昭和7年9月5日	昭和7年9月4日	昭和7年9月3日	昭和7年9月3日
一一六六	一一六二	八八五	五九四	五八八	一一五八	一九四	八六七	五八〇	五八一	五五	五五	五八一	三五九	一二四八	五一	九八九	九八六	五七六	六一四	二二三	商六二	一九二
在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口坂根根領事より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在安東笠原領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在間島瀧山総領事代理より 在満州国武藤大使宛	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在天津太田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中國横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛(電報)	在安東笠原領事代理より 内田外務大臣宛(電報)
滿州塩税収入の送金延滞のため九月分外債支 払い停止との報道を宋財政部長否定について	正金銀行営口支店の上海送金は対中国政策の 大局上より急速実行すべき旨意見具申	ハルビン治安状況に関するA P記者の談話に ついて	日清汽船上海・漢口間航路への補助継続方意 見具申	理由書および関税制度改正案の送付について	満州国承認と同時に宣言発表の場合なるべく 中国側の神経を刺激する言辭回避方意見具申	トルボットへの脅迫に関する崎川顧問の弁明 について	朝鮮人避難民のための集团的農場設置に関し 意見具申	滄石鉄道測量開始の新聞報道否定に関する仏 国公使館員の内話について	自衛団への貸与を目的とする公館予備銃器に 関し陸軍省よりの移管取計い方稟請	満州国全国商工会議の終了および同会議を利 用した中央銀行による国幣の勢力拡充策につ いて	満州奥地の朝鮮人農民に対する収穫期間の保 護に關し必要警察官人数等回報方長春および 鉄嶺宛依頼について	満州国阿片専売実施に關し日本と協定の必要 性など大橋より申出について	地測量開始との報道について	委員會議置との大橋外交部次長内話について	正金銀行営口支店の上海送金に伴う損失補填 誓約に關する満州国政府との協議結果につい て	上海報の不敬記事掲載に關し市長への抗議な らびに内地における記事差止め方について	正金銀行営口支店の上海送金に關する解決要求条項等 につき承認方要請	満州国は財政充実のため阿片専売実施の意向 について	長の代理公使宛抗議公文について	濟南駅頭における張宗昌暗殺について	本邦商品の新規商談は見送られ現状のまま推 移すれば年内の景況打開は困難との認識につ いて	崎川顧問の謀略に対するトルボット副稅務司 の抗議について
318	317	240	785	684	593	443	238	913	316	238	237	108	912	315	314	871	871	108	313	592	784	442

四	430	昭和7年9月13日	五九六	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州国は福本を大連海関長に任命の意向について	443
二	209	昭和7年9月14日	八五	在鉄嶺石塚領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	奥地取獲保護のための必要警察官数等につき 武藤大使宛回答について	241
二	210	昭和7年9月14日	四四五	在吉林森岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	匪賊襲撃後の磐石の状況について	242
六	557	昭和7年9月14日	一〇三九	付記 九月二十五日付在磐石近広領事館警察分署長より在吉林森岡総領事代理宛 報告要旨 匪賊による磐石襲撃事件について	日本軍特務機関の画策による華北独立説に関する情報について	594
七	664	昭和7年9月14日	一九八	在安東笠原領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	朝鮮銀行取扱い海関収入中の日本側供託金返還要求に対する同行の払戻し拒否について	686
八	751	昭和7年9月14日	六〇七	在漢口高井総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	日本租界へ逃亡の共産党員一名楊警備司令に引渡しについて	787
八	752	昭和7年9月14日	一一三	在九江西田領事館事務代理より 内田外務大臣宛(電報)	救国除奸団員による日貨取扱商射殺事件勃発について	788
五	500	昭和7年9月15日	一〇四九	在上海村井総領事より 内田外務大臣宛(電報)	仏国租界における反日朝鮮人取締りに関し仏国政府の協力が不可欠の旨意見具申	526
七	665	昭和7年9月15日	六〇七	付記一 十一月(日付不明)、亜細亜局第二課より陸軍省軍務局軍事課宛 プリンス・コンデ動静に関する情報供給に承諾の方針について 二 昭和八年十月十六日起草桑島亜細亜局長より在本邦ド・ランス仏国臨時代理大使宛半公信 プリンス・コンデ外二名の情報提供について	満州国外交部総長の对中国輸出入関税設定に関する声明書発電について	687
七	665	昭和7年9月15日	六〇七	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州国租界における反日朝鮮人取締りに関し仏国政府の協力が不可欠の旨意見具申	526
七	665	昭和7年9月15日	六〇七	別電 九月十五日発在長春田中総領事代理より内田外務大臣宛第六〇八号 右声明書	満州国租界における反日朝鮮人取締りに関し仏国政府の協力が不可欠の旨意見具申	526
二	211	昭和7年9月16日	九一二	付記 八月二日、通商局作成 「日本國及滿洲國間ノ關稅問題考察」	水害被災者も避難民として救済方意見具申	246
四	431	昭和7年9月16日	六一〇	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	日本の満州国承認と同時に大連海関は満州国に転属すると満州国の見解に武藤大使同意表明について	444
五	501	昭和7年9月16日	一〇五一	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	九月十二日の上海仏国租界における日本憲兵隊の行動に関する詳報	533
五	501	昭和7年9月16日	一〇五一	付記一 九月十二日付在本邦ド・ランス仏国臨時代理大使より内田外務大臣宛口上 書 九月九日の上海仏国租界における日本憲兵隊による搜索活動は租界侵害なる旨の抗議について 二 九月三十日付内田外務大臣より在本邦ド・ランス仏国臨時代理大使宛口上 書 九月九日および十二日の日本憲兵隊の行動に関する陳謝回答 三 九月二十日発陸軍省軍務局軍事課国分少佐より亜細亜局第二課相場理事官宛電話要旨 「上海駐屯憲兵引揚方ニ關シ外務省側ノ意向問合セノ件」	取獲のため朝鮮人農民に武器を供給し自衛団組織方意見具申 満州国の中国向け貨物証明書は満州海関独立後も発給継続が貿易上有利との意見具申 血魂鋤奸団長沙支部の行動に関し何鍵主席に警告について 満州国特使として謝介石外交部総長の日本派遣について 中央執行委員会が九・一八に当り国民に告ぐる書発表について	247 692 788 109 537 536 535 533
二	212	昭和7年9月17日	四五二	在吉林森岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	取獲のため朝鮮人農民に武器を供給し自衛団組織方意見具申	247
七	666	昭和7年9月17日	一一八五	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国の中国向け貨物証明書は満州海関独立後も発給継続が貿易上有利との意見具申	692
八	753	昭和7年9月17日	機密一七二	在長沙槽谷領事より 内田外務大臣宛	血魂鋤奸団長沙支部の行動に関し何鍵主席に警告について	788
一	105	昭和7年9月18日	六二〇	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州国特使として謝介石外交部総長の日本派遣について	109
六	558	昭和7年9月18日	六四四	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	中央執行委員会が九・一八に当り国民に告ぐる書発表について	594

七	673	昭和7年9月29日	六五八	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	698
二	217	昭和7年9月29日	一二七六	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	252
九	866	昭和7年9月27日	二九一	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	913
七	672	昭和7年9月27日	商七〇	在中國横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛(電報)	697
七	671	昭和7年9月27日	合一九一一	在英国松平大使 在米國齋藤臨時代理大使 宛(電報)	696
二	216	昭和7年9月27日	機密二五九	在間島瀧山総領事代理より 在滿州國武藤大使宛	250
八	756	昭和7年9月26日	機密二五九	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛	794
一	108	昭和7年9月26日	一七九五六	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	114
一	107	昭和7年9月26日	六四五	付記 六月十七日付村井大連商工會議所会頭より齋藤外務大臣宛大発第六六〇号 滿州中央銀行による特産物売買の兼業取止め方大連商工會議所請願	114
一	106	昭和7年9月24日	公六六九	在牛莊荒川領事より 内田外務大臣宛	109
八	833	昭和7年9月23日	一〇七五	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	872

七	670	昭和7年9月22日	六三三	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	695
七	669	昭和7年9月22日	一一〇〇	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	695
六	560	昭和7年9月22日	一一九八	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	596
七	668	昭和7年9月21日	一一九四	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	693
七	667	昭和7年9月21日	九六	在滿州國武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	693
六	559	昭和7年9月21日	合一八六九	在米國出淵大使より 在米國長岡大使宛(電報)	595
二	215	昭和7年9月21日	九九	在滿州國武藤大使宛(電報)	250
八	755	昭和7年9月20日	一七六一八	有田外務次官他宛	791
八	754	昭和7年9月20日	普通七四六	在漢口高井総領事代理より 内田外務大臣宛	789
三	283	昭和7年9月19日	一一九二	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	318
二	214	昭和7年9月19日	八六	在滿州國武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	249
二	213	昭和7年9月19日	四五九	在吉林森岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	249

八	七	六	三	八	三	三	一	六	六	一	三	三	一	八	一	一	一	七	七	六	六	七		
759	677	565	314	758	313	285	114	564	563	113	312	284	112	757	111	110	109	676	675	562	561	674		
昭和7年10月8日	昭和7年10月8日	昭和7年10月8日	昭和7年10月8日	昭和7年10月7日	昭和7年10月7日	昭和7年10月7日	昭和7年10月7日	昭和7年10月6日	昭和7年10月6日	昭和7年10月5日	昭和7年10月4日	昭和7年10月4日	昭和7年10月4日	昭和7年10月3日	昭和7年10月3日	昭和7年10月3日	昭和7年10月3日	昭和7年10月1日	昭和7年10月1日	昭和7年9月30日	昭和7年9月30日	昭和7年9月29日		
二四七	一一三三	三一五	九八	普通七九〇	七七八	一一二二八	申字二七五	三一〇	四五九	一五七	一九一	六七一	機密公 五九九	二四一	機密公 五九五	六六六	九九〇	一四四	一四二	六七一	三八六	三七五		
在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在サン・フランシスコ若杉総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口高井総領事代理より 内田外務大臣宛	在仏国栗山臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在本邦蔣中国公使より 内田外務大臣宛	在濟南西田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在中国有吉公使宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在米國齋藤臨時代理大使宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	付記 右執政親翰訳文	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在長春田中総領事代理より 内田外務大臣宛	在ハルビン長岡総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	武藤関東長官より 内田外務大臣宛	関機外	
満州国承認に伴い中国向け移出の撫順・煙台炭に対する新旧税率差額の供託中止について	安福、直隸兩派の華北政権奪取の画策について	宋子文がドナルド張学良顧問およびベック在南京米國総領事を伴い韓・劉抗争ならびに米國小麦買入問題につき蔣介石と会談について	朝鮮銀行預金中の日本側供託金返還問題に関する満州国財政部との協議結果について	在中国邦人紡績業者のため関税賦課に猶予期間要望に対する満州国政府の拒絶理由について	移民計画に関する拓務省側説明に対し慎重措置方注意喚起について	謝介石満州国答礼使一行の旅程について	謝介石満州国答礼使の携行する執政親翰写送付について	十九路軍の後援を当てにした日貨排斥運動の阻止に陳銘枢利用について	謝介石満州国答礼使の携行する執政親翰写送付について	保管税収の満州国引渡しに關し朝鮮銀行より総務司への回答振り回示方請訓	満州国道路計画に關し米國土木会社の問合せおよび陸軍側回答について	満州国による海關・塩務・郵便各行政接收後の状況および満州国貿易・金融状況等について	当面の急務は共匪討伐と国内の統一にあり暫時満州放棄もやむを得ないとの藍衣社宣言につき査報方訓令	韓主席が山東方面での治安維持確約ならびに日中關係への善処の代償として日本側に要望した援助内容について	満州省着外国電報の日本中継問題に關する中國政府よりの再抗議通告	満州海關接收前の税収送金に我が方の好意表示は宋財政部長等との交渉上好都合との意見具申	仏國投資団派遣の満州視察団渡日日程について	武漢における排日貨風潮終熄と本邦品の輸入激増について	満州国における外国資本歓迎の旨または外国人貿易に關する資料につき発表方意見具申	馮玉祥が膠東事件の嫌疑を避けるためと称し山東を去り北上について	管口出荷の撫順炭に対する中国海關の輸入税賦課方針とその対応策について	蔣光鼐の排日運動弾圧の決意などに関する林知淵の情報について		
799	701	600	349	797	348	319	125	599	599	123	348	319	122	121	796	119	117	116	115	701	700	598	597	699

十月

日付索引

八	七	七	六	八	七	七	八	八	八	三	三	八	八	八	八	二	八	六	二	八	八	七	二	三	
767	682	681	567	766	680	679	765	764	763	316	286	837	762	761	760	220	836	566	219	835	834	678	218	315	
昭和7年10月20日	昭和7年10月20日	昭和7年10月20日	昭和7年10月20日	昭和7年10月19日	昭和7年10月19日	昭和7年10月19日	昭和7年10月17日	昭和7年10月14日	昭和7年10月14日	昭和7年10月14日	昭和7年10月14日	昭和7年10月13日	昭和7年10月12日	昭和7年10月12日	昭和7年10月12日	昭和7年10月12日	昭和7年10月11日	昭和7年10月11日	昭和7年10月11日	昭和7年10月10日	昭和7年10月10日	昭和7年10月10日	昭和7年10月10日	昭和7年10月9日	
二七〇	一二五七	一二五六	合二〇一八	二七一	普通七八六	一二五二	二六七	二六三	四二七	一九六	一二四一	機密公 一〇四〇	九七	二五〇	二五一	合一九九八	六一三	六五三	機密 一一三五	六一〇	六〇九	四〇一	一二八七	五二四	
在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在米國齋藤臨時代理大使 (電報)宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天中野総領事代理より 内田外務大臣宛	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州外務大臣宛(電報)	在厦門三浦領事より 内田外務大臣宛(電報)	在米國齋藤臨時代理大使宛(電報)	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛	在芝罘佐々木領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口高井総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在間島永井総領事より 内田外務大臣宛	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在米國齋藤臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	
文および慰謝料等受領について	撫順炭への輸入税賦課に対し輸入税供託による対処方針具申につき請訓	撫順炭に対する輸入税賦課問題に関し宋子文の回答について	貴州・四川両省における内争について	排日団体への威圧を伴わない我が方解散要求は民心を刺激するおそれある旨意見具申	満州国関税賦課の当業者に及ぼす影響について	営口出荷撫順炭への輸入税賦課の中止は中国側強硬態度から困難の見込みについて	排日の悪化に対し自警団の組織および陸戦隊の上陸要請等在留民硬化の状況について	台湾籍民海産物商商品焼却事件に関する要求への省政府側の対応について	抗日会による台湾商人傭入れの中国帆船焼却について	日本による満州市場独占のタイムス紙報道に対する在満大使の反論について	満州海関接収以前の税収送金につき宋財政部長の督促要求について	張公安局長に対し鉄血除奸団の排日行動取締りを嚴重要求について	民国日報不敬記事事件に関する市当局との交渉経過について	台湾籍民海産物商商品焼却事件に関する要求条項について	台湾籍民海産物商に中国人乱入し商品を買取焼却について	満州里、ハイラル等の居住邦人外部との交通遮断の状況について	農作物収穫保護対策につき管下分館分署へ示達について	日本新聞の藍衣社宣言に関する報道振りにつき蔣介石の中央通信記者に対する談話について	晨光不敬記事事件に関する市長との交渉振りについて	雑誌「晨光」の不敬記事掲載について	晨光不敬記事事件に関し市長に解決のための五条件要求について	天津海関は大連出荷貨物を外国品として輸入税徴収かつ領事査証要求の意向につき国民政府と交渉方要請について	東辺道兵匪討伐実施を期し収容所閉鎖を關係機関協議により決定について	日本が満州市場独占とのタイムス紙報道について	
806	708	706	602	806	704	703	805	804	803	350	320	875	802	801	800	255	254	874	601	253	874	873	702	253	349

八	768	昭和7年10月20日	機密四八九	在濟南西田総領事より	除奸団の脅迫状は中国側商人の策動と認められるとの情報について	807
二	221	昭和7年10月21日		在間島永井総領事より	自衛団組織が相当効果的である黄直の事例について	259
八	769	昭和7年10月21日	機密九三五	在天津桑島総領事より	商民救国会による日貨の検査について	808
七	683	昭和7年10月24日	七二八	在長春田中総領事代理より	木材の輸出関税減免に関する満州国政府との交渉経過について	708
三	317	昭和7年10月25日	一一二	内田外務大臣宛(電報)	満州国より英米両国に対し商務總會代表のごとき資格の人物派遣方意見具申	352
九	867	昭和7年10月25日	四一三	在天津桑島総領事より	正太鉄道の接収式典挙行について	914
三	318	昭和7年10月26日	二〇二	内田外務大臣より	仏国人経済記者リオティーの満州視察に対する便宜供与依頼について	352
七	684	昭和7年10月26日	七三八	在長春田中総領事代理より	木材の輸出関税減免要望に対し満州国財政部は拒絶の意向について	709
九	868	昭和7年10月26日	一一七一	内田外務大臣宛(電報)	汪兆銘が外遊に際し正太鉄道借款中より四百万円を旅費に充当した等の情報について	914
七	685	昭和7年10月28日	一二七五	在中國有吉公使より	管口出荷撫順炭に関し輸入税供託ならびに留保付輸入申告書提出により通関手続き完了について	710
八	770	昭和7年10月28日	一二七七	在中國有吉公使より	福州における排日に関し国民政府への抗議承認方要請	811
八	771	昭和7年10月28日	一八七	在青島堀総領事代理より	福州における排日に関し国民政府への抗議承認方要請	811
				別電 十月二十八日発在中國有吉公使より内田外務大臣宛第一二七八号	認方要請	812
				右抗議案	認方要請	812
				在青島堀総領事代理より	社会局が国貨提唱の意味にて内地炭の使用を各工場に向け訓令について	812

一	115	昭和7年10月29日	条二機密 四五	内田外務大臣より	満州発着外国電報の日本中継問題に関する中国側再抗議に対し日本が満州国を承認した以上抗議を受ける筋合いなき旨回答	126
七	686	昭和7年10月29日	一一八一	在中國有吉公使より	大連出荷撫順炭も管口出荷分に準じた輸入手続きを行なう方針について	710
八	838	昭和7年10月29日	六八	内田外務大臣より	晨光不敬記事事件交渉に関し嚴重抗議方訓令	878
二	222	昭和7年10月30日		在満州国武藤大使より	通化分館再開につき詮議方稟請	260
				内田外務大臣宛(電報)	通化分館再開につき詮議方稟請	260
八	839	昭和7年10月31日	六三九	在広東吉田総領事代理より	晨光不敬記事事件については市長との交渉を打ち切り省政府さらに西南政務委員会を交渉相手とし解決を計りたき旨意見具申	879
九	869	昭和7年10月31日	四七四	内田外務大臣より	滄石鉄道借款契約の内容査報方訓令	915
		十一月		在中國有吉公使宛(電報)	滄石鉄道借款契約の内容査報方訓令	915
九	870	昭和7年11月1日	七二三	在南京上村総領事代理より	滄石鉄道借款仮契約は公使館側に相談なく正大鉄道仏国人技師と鉄道部との直接取極めであるなど仏国書記官の内話について	915
二	223	昭和7年11月2日	合二〇七七	内田外務大臣より	満州里に抑留中の日本人婦人および子供百二十一名ソ連領へ出発について	261
三	287	昭和7年11月2日	関機高支 二二二三三	内田連盟事務局長	満州里に抑留中の日本人婦人および子供百二十一名ソ連領へ出発について	261
六	621	昭和7年11月2日	六七三	林関東庁警務局長より	新紙幣の普及状況および満州国政府の普及政策について	320
				有田外務次官他宛	新紙幣の普及状況および満州国政府の普及政策について	320
				在ソ連邦天羽臨時代理大使より	国際連盟中国代表顔惠慶がジュネーブ出張中のリトヴィノフ人民委員に対しソソ復交を提議したとの情報について	651
				内田外務大臣宛(電報)	国際連盟中国代表顔惠慶がジュネーブ出張中のリトヴィノフ人民委員に対しソソ復交を提議したとの情報について	651

六	569	昭和7年11月14日	一一九五	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	米国会社との間に秘密裡に行なった借款の廉 て李前招商局総理が公安局により拘留につい	604
三	290	昭和7年11月13日	一三二八	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	旧東北政權債務整理問題は、大橋外交部次長に 任せるべきとの意見具申	323
六	568	昭和7年11月12日	六六一	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	広東地方において陳済棠の独裁専行時代が出 現する形勢ありとの観測について	602
一	118	昭和7年11月12日	一四二四	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛	中国交通部が発表した東三省発着電報検査弁 法送付について	128
七	693	昭和7年11月11日	一三〇七	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	大連出荷撫順炭への領事査証料は抗議付納付 のほかなき旨意見具申	715
七	692	昭和7年11月11日	一一八八	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	大連出荷貨物すべてに対する輸入税徴収など の海関告示について	715
三	289	昭和7年11月11日	機密八六三	在安東岡本領事より 内田外務大臣宛	東辺道における唐聚五発行の軍票について	322
三	288	昭和7年11月11日	二七三	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国内示の旧東北政權債務整理案は到底容 認不可能の旨回答について	321
二	225	昭和7年11月11日	一三二五	在奉天森島総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	東辺道兵匪討伐後の避難民帰還状況について	265
七	691	昭和7年11月10日	一三〇四	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	大連出荷撫順炭に関し供託拒否のため輸入税 納付のほかなき旨意見具申	715
七	690	昭和7年11月10日	一三〇三	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	撫順炭の内国品待遇は困難とのメーズ総稅務 司の談話について	713
三	322	昭和7年11月10日	合二一一	内田外務大臣より 在スウェーデン武者小路公使宛(電報) 在スイス矢田公使	スイス・デンマーク両国銀行家の対滿投資希 望への陸軍側対応について	355
九	874	昭和7年11月9日	一二九七	在中国堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款仮契約に対するベルギー財團側 代表の觀察について	918
九	873	昭和7年11月9日	七四三	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款仮契約は結局成立不可能と思考 する旨の陳鐵道部顧問の内話について	918
七	689	昭和7年11月9日	一九三	在青島堀総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款仮契約は結局成立不可能と思考 する旨の陳鐵道部顧問の内話について	713
二	224	昭和7年11月8日	公普通 一一二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛	満州各地における收穫保護の状況について	262
三	321	昭和7年11月7日	一六一	在ニュー・ヨーク堀内総領事より 内田外務大臣宛(電報)	大連出荷鞍山鉄鉄の輸入税供託に対する海関 の拒否回答について	713
一	117	昭和7年11月7日	公機密 一一一	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛	日本市場における満州国公債募集に関しラモ ントに内報について	355
九	872	昭和7年11月6日	七三四	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	日本人に対する満州国側課税に関し実情報告 方、在滿各公館長宛訓令について	127
七	688	昭和7年11月5日	四三〇	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款仮契約は、仏国側修正を中国側受 諾拒否のため実現困難の見通しとのベルギー 公使館員内話について	917
三	320	昭和7年11月5日	二五七	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	仏国資本の對滿投資態度に関する小磯・リオ テイー会談について	353
九	871	昭和7年11月4日	六四二	在中國矢野大使館参事官より 内田外務大臣宛(電報)	満州国道路計画に関し米国土木会社との会談 および満州国の出資意向問合せについて	353
三	319	昭和7年11月4日	五六六	在米国斎藤臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	滄石鉄道借款仮契約の内容に関する仏国公使 館員の内話について	916
一	116	昭和7年11月3日	合四一	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	北黒鉄道予定線の航空撮影に関し匪賊偵察を 名目としてソ連側了解取付け方ハルビン総領 事宛電請	127
七	687	昭和7年11月2日	一二八八	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	大連出荷鞍山鉄鉄の輸入税供託につき青島総 領事代理に海関との交渉方要請について	711

七	698	昭和7年11月29日	一三七一	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	撫順炭への輸入税賦課中止を朝鮮銀行の海關 収入上海送金問題の斡旋条件とし大連出荷分 には供託容認を総稅務司に申入れについて	718
三	293	昭和7年11月26日	二二二〇	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	東辺道の軍票処理方案について	327
一	122	昭和7年11月26日	六四七	沢田連盟事務局長より 内田外務大臣宛(電報)	日本銀行團の満州国公債引受けと同国阿片專 売制度説との關係につき事情報告方連盟阿片 部長申入れについて	132
六	574	昭和7年11月25日	六八一	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	対米小麦借款は国民生活を害するとの西南当 局の反対通電について	607
三	323	昭和7年11月24日	六六三	在仏国栗山臨時代理大使より 内田外務大臣宛	中央銀行発行紙幣の価値高騰について	325
三	292	昭和7年11月24日	二二九五	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	仏国モパン社によるハルビンにおける建築工 事請負いについて	356
二	226	昭和7年11月24日	合二一七四	内田外務大臣より 沢田連盟事務局長 在米國出淵大使宛(電報)	今回小麦借款は米國および宋子文を益するの みとの西南当局談報道について	265
六	573	昭和7年11月22日	六七四	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	満州里、ハイラル等抑留邦人の避難状況につ いて	607
八	841	昭和7年11月21日	七一	在広東吉田総領事代理宛(電報)	晨光不敬記事事件に関し陳済棠に尽力依頼方 訓令	882
七	697	昭和7年11月21日	一一一〇	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	國産綿糸布保護のため輸入税率引上げにつき 上海市商会の行政院宛電請について	718
七	696	昭和7年11月19日	七六〇	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	民生報報道について	717
三	291	昭和7年11月19日	機密八一〇	在牛莊荒川領事より 内田外務大臣宛	管口過炉銀への総商会の不当政策について	325
八	774	昭和7年11月18日	機密六二二	在中國矢野大使館參事官より 内田外務大臣宛	北平各界抗日救國會の日貨排斥状況と張学良 の取締りについて	816
八	773	昭和7年11月18日	公三六〇	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛	公安局による反日分子鄭維新射殺事件につい て	814
六	572	昭和7年11月18日	七五九	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	中央常務會議において十二月一日を期し中央 党部および國民政府各機關南京復帰等決議に ついて	606
一	121	昭和7年11月18日	二九二	在満州國武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満鉄と満州國との鉄道経営などに関する契約 問題打合せのため後宮大佐帰国上京について	132
六	571	昭和7年11月17日	七五六	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	招商局の対米秘密借款問題を行政院に回付し 嚴重処罰する旨の政治會議決議について	606
八	772	昭和7年11月16日	三三二	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	台湾よりの密輸増加の状況について	813
六	570	昭和7年11月16日	七五五	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	宋子文の新聞記者に対する談話中招商局の対 米秘密借款を批難について	605
一	120	昭和7年11月16日	機密九一六	在奉天森島總領事代理より 内田外務大臣宛	安東密輸激増に満州國警察權の付属地拡張方 安東税関の奉天省公署宛請訓について	131
八	840	昭和7年11月15日	六六六	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	晨光不敬記事事件解決のため陳済棠に尽力依 頼方請訓	880
七	695	昭和7年11月15日	一三二二	在中國堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	管口出荷撫順炭への供託拒否に対し交渉妥結 まで輸入税支払い拒絶の方針について	717
七	694	昭和7年11月15日	一三一九	在中國堀内臨時代理公使より 内田外務大臣宛(電報)	管口出荷撫順炭の供託も否認となる見込みに ついて	716
一	119	昭和7年11月15日	二八四	在満州國武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	葫蘆島築港工事中止方満州國閣議決定につい て	130

付記 昭和八年十月六日付在錦州後藤領事代理より広田外務大臣宛公信機密第三
〇八号
オランダ築港会社の葫蘆島引揚げについて

一	六	二	一	一	七	六	八	六	三	一	八	八	一	八	六	五	三	一	八	三	七		
128	578	227	127	126	700	577	779	576	326	125	778	777	124	776	575	502	325	123	775	324	699		
昭和7年12月6日	昭和7年12月5日	昭和7年12月5日	昭和7年12月5日	昭和7年12月5日	昭和7年12月4日	昭和7年12月4日	昭和7年12月3日	昭和7年12月3日	昭和7年12月3日	昭和7年12月3日	昭和7年12月2日	昭和7年12月2日	昭和7年12月2日	昭和7年12月1日	昭和7年12月1日	昭和7年12月1日	昭和7年12月1日	昭和7年12月1日	昭和7年11月30日	昭和7年11月30日	昭和7年11月29日		
申字三二四	六九六	合二二六二	三六六	六八	一四九	七九一	七一	四八四	五二四	普通九六五	六九一	七〇八	三五〇	一七〇	一三七九	機密往信	四九	五七九	三九八	四八	一三七二		
内田外務大臣宛	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在局子街田中副領事より 内田外務大臣宛(電報)	在芝罘佐々木領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口清水水総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在厦門三浦領事より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国栗山臨時代理大使宛(電報)	在奉天森島総領事より 内田外務大臣宛	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口清水水総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在宜昌猿渡領事館事務代理より 内田外務大臣宛	在中国有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	付記一 十二月四日付在本邦ド・ランス 右事件への抗議	付記二 十二月二十七日付有田外務次官より 右抗議への回答	林閣東庁警務局長より 有田外務次官宛	在ハノイ永田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在ハノイ永田総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	
満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より	満州国政府より		
143	611	266	142	141	720	610	821	609	358	140	820	820	138	818	608	540	540	538	358	133	818	357	720

日付索引

三	六	六	六	三	三	六	六	六	一	六	八	七	七	六	二	一	八	八	七	三	三	八	三	三	
332	626	625	624	331	330	623	581	580	130	622	783	703	702	579	228	129	782	781	701	329	294	780	328	327	
昭和7年12月15日	昭和7年12月14日	昭和7年12月14日	昭和7年12月14日	昭和7年12月14日	昭和7年12月14日	昭和7年12月13日	昭和7年12月13日	昭和7年12月13日	昭和7年12月13日	昭和7年12月11日	昭和7年12月10日	昭和7年12月9日	昭和7年12月8日	昭和7年12月8日	昭和7年12月8日	昭和7年12月8日	昭和7年12月7日	昭和7年12月7日	昭和7年12月7日	昭和7年12月7日	昭和7年12月7日	昭和7年12月6日	昭和7年12月6日	昭和7年12月6日	
四一六	六六七	一四一一	八一八	九四〇	三六〇	六六六	八一六	一四〇七	三五四	脱	三五八	商二七八	一三九七	七〇一		七九一	七九八	七〇〇	一三九六	九二三	一七三一一	七九三	六五三	二四〇	
在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在米國斎藤臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在仏國栗山臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使宛(電報)	沢田連盟事務局長より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使宛(電報)	在ソ連邦天羽臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中國横竹大使館商務参事官より 内田外務大臣宛	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在ソ連邦天羽臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在新京栗原総領事より 内田外務大臣宛	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在仏國栗山臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	沢田連盟事務局長より 内田外務大臣宛(電報)	別電 十二月六日発内田外務大臣より在米國斎藤臨時代理大使宛第二四一号 右回答	内田外務大臣より 在米國斎藤臨時代理大使宛(電報)
満州国首都建設事業費の大幅減額について	中ソ復交が日本に与えた影響に関する米国有力紙論調について	中ソ復交に関する漢字紙などの論調について	羅文幹外交部長の対ソ復交に関する声明発表について	仏国における対満借款団成立に対し在仏中國国民党による仏國要人への抗議書簡送付について	谷亜細亜局長・ドリル会谈について	リトヴィノフの中ソ復交に関する声明について	対米小麦借款反対説に対する宋子文談話について	中正廷が須磨に対し日中問題解決方ならびに中ソ復交等に関し談話について	締結までの弁法案修正方回訓	満州国における日本人土地所有に関する条約	交換の運びになるとのカラハン談話について	中国側の国交回復方申出に承諾し近日ノート排日運動激化の状況と鄭射殺事件の影響について	中国税関収入の前年比増加の傾向について	対米小麦借款に関し外米輸入税は取止めに決定との鄭魯談話について	日本軍先頭部隊の満州里到着について	満州国による朝鮮人への出産税徴収撤廃に関する新京警察署報告の誤報否定について	日貨取扱いは死刑に処するとの救国会全体会議決議について	南京日本語反日放送中止問題に関し劉外交次長より日本側の理解要請について	海関収入上海送金靴旋問題に関し宋子文は条件拒絶のため大連出荷撫順炭の輸入税抗議付納付を実施について	小磯へのリオテイー回答転達を差控えるべき旨意見具申	満州国の銀本位制につき朝鮮銀行四平街支店長の談話について	南京における日本語による反日放送の中止を劉外交次長に要求について	北欧の一会社より対満投資の意向内談につき対応方請訓	満州国道路計画への外国出資に関し満州国回答転達について	満州国道路計画への外国出資に関し満州国回答転達について
365	656	654	654	364	363	362	653	613	612	146	652	824	722	612	266	144	823	823	721	361	328	361	360	359	359

七	六	三	七	六	六	三	一	八	六	六	五	一	八	五	三	八	八	六	六	三	七	六	二	一		
706	632	335	705	584	583	334	133	787	631	630	504	132	786	503	295	785	784	629	628	582	333	704	627	229	131	
昭和7年12月23日	昭和7年12月22日	昭和7年12月22日	昭和7年12月21日	昭和7年12月21日	昭和7年12月21日	昭和7年12月21日	昭和7年12月21日	昭和7年12月20日	昭和7年12月20日	昭和7年12月20日	昭和7年12月20日	昭和7年12月20日	昭和7年12月19日	昭和7年12月19日	昭和7年12月19日	昭和7年12月18日	昭和7年12月17日	昭和7年12月17日	昭和7年12月17日	昭和7年12月17日	昭和7年12月17日	昭和7年12月16日	昭和7年12月16日	昭和7年12月16日	昭和7年12月16日	
一四三五	一四八九	一八一五九	一六三	八四六	八四四	九四七	四四二	七二九	六八八	七二四	四一五	機密三八五	七二八	一三八六	四七四	四七二	八三五	一四一四	八三〇	三六四	八二八	九四七	四八二	四八二	本機密	
内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	林閣東庁警務局長より 有田外務次官他宛	在芝罘佐々木領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在仏国栗山臨時代理大使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	在漢口清水総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在中國中山公使館一等書記官より 内田外務大臣宛(電報)	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	内田外務大臣より 在上海石射総領事宛 付記 昭和八年一月六日付在上海石射総領事の談話について	在局子街田中副領事より 内田外務大臣宛	在漢口清水総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在上海石射総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天中野総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在中國有吉公使より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在奉天中野総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	在満州国武藤大使宛(電報)	在千チハル内田領事より 内田外務大臣宛	本機密
傾銷貨物審査委員会組織と石炭ダンピングに 関する審査状況について	中ノ復交に対し宋慶齡および孫科が賞賛しソ 連側も内々満足の様子等について	本邦資本家の対滿蒙投資忌避について	他の輸入品への悪影響および税関長の立場を 考慮し撫順炭輸入税供託を止め抗議付納付実 施につき稟請	羅文幹の三中全会における対日外交問題報告 について	三中全会第三次大会において孫科等提出の国 力集中案通過について	満州国首都建設費減額は仏国実業界の対滿感 情悪化のおそれあり事情回示方稟請	商租権北滿波及に当り以後間島協約による土 地所有は認めず日本人の課税および警察権へ の服従を要する旨の満州国側意向について	堅白の情報は蒋介石の対内政策に過ぎずとの耿 野白の情報について	領事館警察は私服の巡察隊を組織し租界内巡 察を実施について	東側態度については 東側態度については 東側態度については	領事館警察は私服の巡察隊を組織し租界内巡 察を実施について	抗日救国会による日貨押収事件に関し同会の 解散を警備司令に要求について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について	天津日本総領事官邸への爆弾投入について
725	661	367	724	615	614	366	153	826	660	660	545	149	825	542	329	825	825	659	659	613	366	723	658	267	148	

三	336	昭和7年12月24日	三九〇	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	仏国投資団の資金に関し外相よりの利用勧告 に対する満鉄副總裁の回答振りについて	367
六	585	昭和7年12月24日	合二四三二	内田外務大臣より 在英国松平大使、在ソ連邦大田大使、 在米田齋藤臨時代理大使他宛(電報)	三中全会の審議状況に関する情報について	616
一	134	昭和7年12月25日	四五九	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	鮑鏡澄駐日満州国代表の公使任命への適否に つき日本政府意向回示方満州国要請について	154
三	296	昭和7年12月26日	四六三	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	旧東北政権債務に関し日本側債権者への第一 次現金支払い完了について	329
三	337	昭和7年12月26日	四六二	在満州国武藤大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国首都建設費の減額事情について	368
八	788	昭和7年12月26日	七三四	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	救国会が日本紙取扱いの中国人四名を逮捕し 死刑に処すべく策動中について	827
一	135	昭和7年12月28日	三九七	内田外務大臣より 在満州国武藤大使宛(電報)	商租権北滿波及問題に関し課税は黙認するも 警察権服従は領事館令等の設定をもって代替 とすべき旨回訓	155
一	136	昭和7年12月28日	条二機密 四八	付記 昭和八年一月一日発在間島永井総領事より内田外務大臣宛電報第一号 間島における土地取得には商租の方が有利の旨意見具申	満州国が日本紙取扱いの中国人四名を逮捕し 満州国再々抗議に対する回答	156
一	137	昭和7年12月28日	六八八	在米田出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	満州国の阿片専売実施に関し日本の責任を追 究した米田紙記事について	157
一	138	昭和7年12月28日	六八九	在米田出淵大使より 内田外務大臣宛(電報)	米田紙記事に関し満州国は阿片漸禁主義の実 行方法等発表が肝要の旨意見具申	158
一	139	昭和7年12月28日	合一一八	在チチハル内田領事より 内田外務大臣宛(電報)	海克線敷設工事完了について	158
六	586	昭和7年12月28日	三七七	在福州守屋総領事より 内田外務大臣宛(電報)	福建省政府改組後の状況等について	617
一	140	昭和7年12月29日	機密公 一一四〇	在吉林森岡総領事代理より 内田外務大臣宛	邦人への満州国側課税に関する管内状況につ いて	159
八	789	昭和7年12月29日	七四二	付記 昭和八年一月十八日付在奉天中野総領事代理より内田外務大臣宛公信機密 第四九号 邦人への満州国側課税に関する管内状況について	救国会による日貨取扱い中国人の逮捕に関し 広東市長に嚴重警告について	160
八	790	昭和7年12月29日	七四四	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	広東市長は救国会の日貨取扱い中国人死刑決 議を否認について	829
八	842	昭和7年12月29日	七四三	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	農光不敬記事事件に関し陳済棠は会見を回避 したため市政府側とのこれ以上の交渉は困難 の旨意見具申	882
八	791	昭和7年12月31日	七四九	在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)	日貨取扱い中国人四名の死刑執行について	829
八	792	昭和7年12月31日	八七〇	付記一 昭和八年一月九日付友部台湾総督府警務局長より生駒拓務省管理局長宛公 信警高甲第五五号 広東救国会の国民党宛死刑要求について 二 昭和八年一月二十四日発在広東吉田総領事代理より内田外務大臣宛電報第 四六号 右死刑執行に対する広東市長釈明について	国民党中央の日貨排斥の指示に関する情報に ついて	833